

平成元年三月

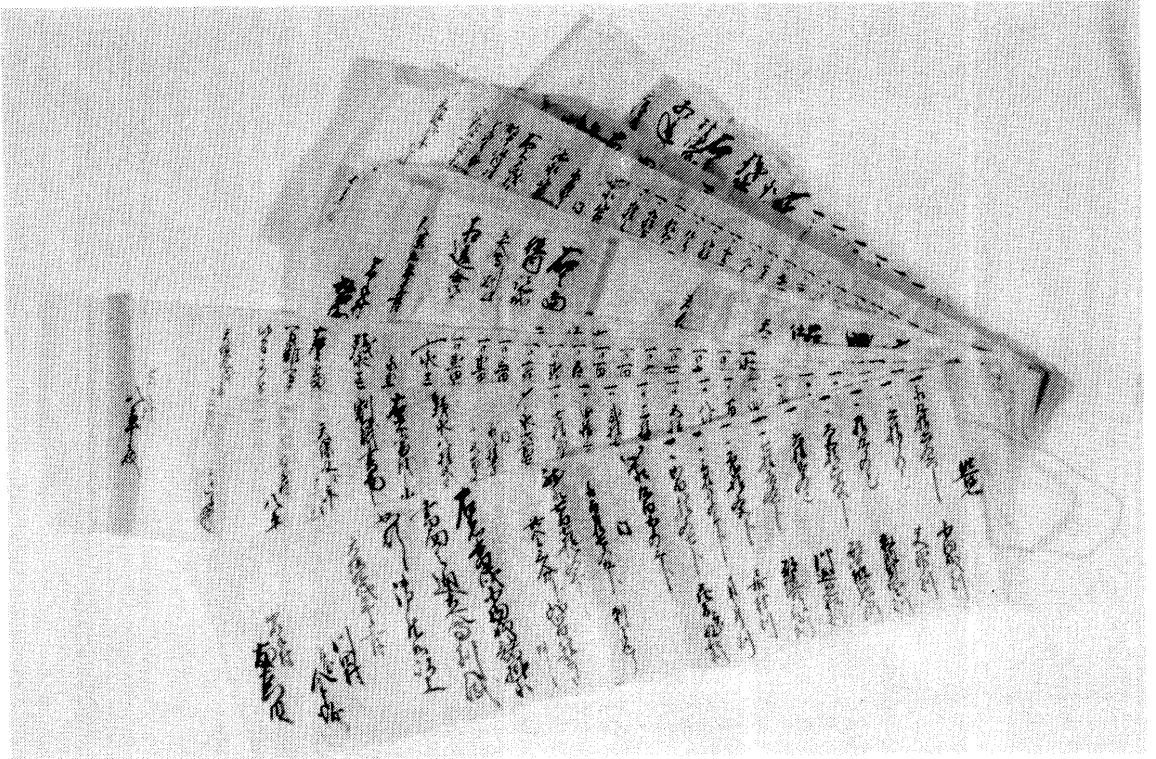
史料館所蔵史料目録 第四十九集

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録  
(その二)

史料館

史料館所藏史料目録 第四十九集

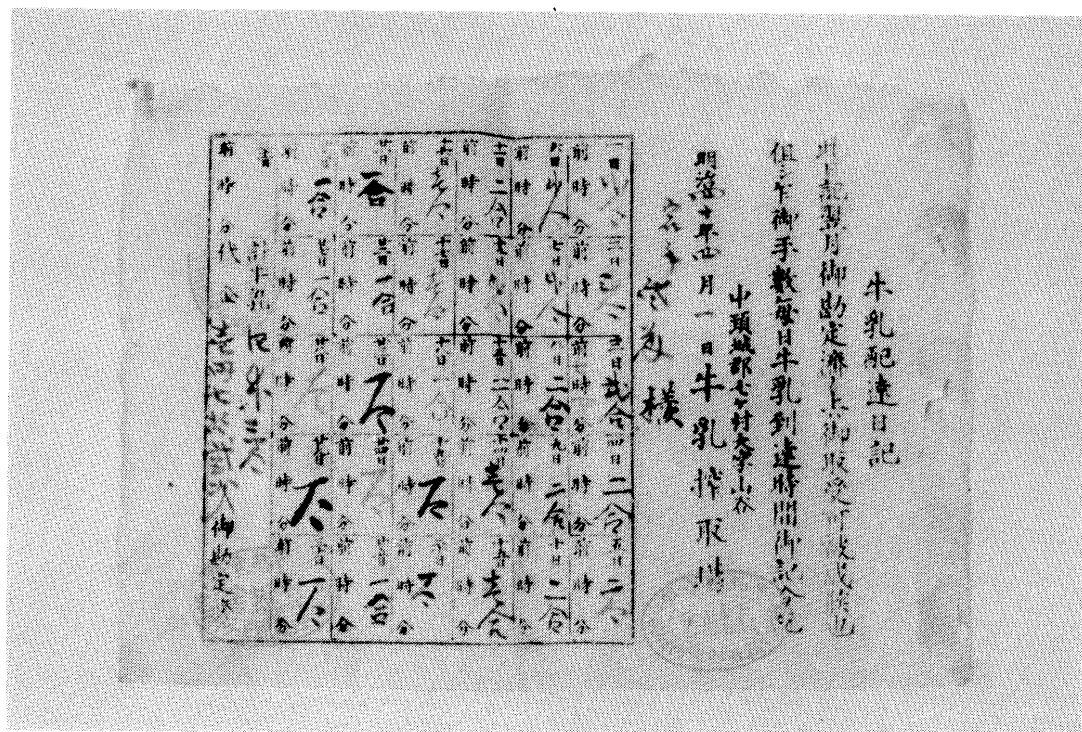
越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録  
(その二)



1. 諸村持高年貢諸懸り算用目録等綴 天保九年 (史料番号5254-16)



2. 地租地方税諸入費并品代金等受領書綴 明治十四年, 明治二十年, 大正十一年  
(史料番号9096, 9098, 9095)



3. 牛乳配達日記 明治四十年 (史料番号9134-7)



4. 戦時報国債券、戦時貯蓄債券 昭和十八年、昭和二十年 (史料番号9249)

## 凡 例

- 一 本目録は『史料館所蔵史料目録』第四十九集として、越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録（その二）を収めた。
- 一 史料は利用上の便宜を考慮して、その内容・性格等に応じ、大・中・小の項目を立てて分類配列した。大項目は一二ポイント活字、中項目は一〇ポイント活字、小項目は九ポイントゴチック活字で示した。また、必要に応じて〇印で細項目を示した。なお、内容が多岐にわたり、他の項目中にも掲げることを妥当と考えた史料は、\*印を付して重出した。
- 一 小項目（ないし細項目）の中の史料の配列は、原則として年次順である。
- 一 史料目録の記載欄はほぼ、(一)表題 (二)作成者または差出人 (三)宛名 (四)作成年次 (五)形態 (六)数量 (七)整理番号の順である。
- 一 表題（史料名称）は、冊子型史料については原則として表紙記載の原表題を採り、原表題の無いものには仮に命名して（ ）を付した。書付型史料については原表題の無いものが多いので原則として仮表題を掲げ、この場合にはいちいち（ ）を付けることはしなかった。また内容摘記は「」内に八ポイント活字をもって併記した。
- 一 作成年次は年月日もしくは干支を採り、推定年次の場合は（ ）を付した。
- 一 史料の形態は、冊子型史料では半（半紙判）、横半（半紙判横綴）、美（美濃判）、横美（美濃判横綴）、美大（美濃大判）、半半（半紙半截判）、横長半（半紙横長判）、横長美（美濃横長判）、横長美大（美濃大横長判）、横半半（半紙半截横長判）、横美半（美濃半截横長判）などによって原書の大略を示すにとどめた。また書付型史料は通をもって数量を示し、紙形の大小・寸法などは省略した。絵図類は縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。
- 一 数量の上部に示した仮は仮綴本、合は合冊本、板は木版本、刊は活字本であることを示す。
- 一 史料の利用にあたっては、巻末の解題を参照されたい。

目次

口絵

凡例

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録（その二）

目次

目録

解題

頁

一

三

五

六五

越  
後  
国  
岩頸  
手城  
村郡  
佐  
藤  
家  
文  
書  
目  
録  
(その二)

越後国 佐藤家文書目録(その二)目次

頸城郡  
岩手村

岩手組(組合村).....	五	佐藤家.....	三七
支配.....	五	経営.....	三七
才覚金.....	五	所持地、債券、所得、土地金融証文、地主帳簿、小作地経営、争論・一件、勘定書・請取書(売米、諸品、地租・地方税・郡村入費等).....	三七
貢租・諸懸.....	五	家計・出金、記録・学芸、書状.....	六〇
蔵米、刺米、郡中組内小懸.....	五		
普請.....	六		
郡中割普請、岩手組諸村普請所.....	六		
戸口.....	六		
宗門改帳、改寺改宗.....	六		
村政.....	六		
治安・吟味.....	七		
その他.....	七		
岩手村.....	七		
支配.....	七		
触・達、夫人足・伝馬御用.....	七		
土地.....	七		
高反別帳・地曳帳、地租改正・地押調.....	七		
査、絵図・地図.....	八		
貢租・諸懸.....	八		
享保、元文、寛保、延享、寛延、宝暦、明和、安永、天明、寛政、享和、文化、文政、天保、弘化、嘉永、安政、文久、元治、慶応、明治、年不詳分.....	八		
普請.....	三〇		
御普請所、普請人足用具、川除・用水堰普請、橋普請、他村.....	三〇		
戸口.....	三三		
戸籍・出生死亡人調、人別送・送籍・寄留、他国出稼.....	三三		
村政.....	三三		
救恤、治安、衛生、寺社、諸稼・営業、廻状・用状、大区小区・町村編制、選挙、他村、その他.....	三六		
争論・訴訟.....	三六		



越後国頸城郡 岩手村 佐藤家文書目録（その二）  
（文書番号 28A・57A）

岩手組（組合村）

支配

才覚金

\*黒岩村佐五右衛門上ヶ過金請取覚 佐藤八平宛  
延享三年五月五日

丑年上ヶ元利〔才覚上ヶ金元利并此御渡米〕 横長美 一通 五四三

筑山貞四郎外三名書状〔才覚金につき〕 岩手組 包紙入 一通 五三二  
佐藤八平宛 五月七日

〔才覚金その他元利差引勘定覚〕〔岩手組・鉢崎組〕 横美半 一冊 五四五

〔才覚金上納差引覚カ〕〔岩手組・鉢崎組〕 一通 五四〇

〔触元役所用状カ〕〔金主之面々へ渡米につき〕組々 一通 五四一  
大肝煎中宛 一〇月

貢租・諸懸

蔵米

延享二年下条御蔵納米書付類 一括 八通 五五三

1 御渡し米切ふり覚 上小野村彦右衛門 佐藤八平宛 丑（延享二年） 一二月二一日 一通

2 村々切入米覚 喜惣右衛門 八平宛 丑（延享二年） 一二月二一日 一通

3 下条御蔵米預り覚 上小野村喜惣右衛門 芋嶋村只七宛 丑（延享二年） 一二月一〇日 一通

4 計米覚 下条村佐次右衛門 佐藤八平宛（延享二年） 閏一二月三日 一通

5 丑御年貢米津出シ駄賃錢請取覚 下条村庄屋佐次右衛門 馬正面村小林平次郎宛 延享三年六月一日 一通

6 納米借用証文（当丑御年貢米村々指詰りにつき）上下浜新田外一四村庄屋連印 延享二年一二月 一通

7 下条蔵納米覚 下条村佐次右衛門 佐藤八平宛 丑（延享二年） 一二月二六日 一通

8 御渡米切ふり覚 一通

丑納寅下条御蔵米渡方覚帳 横長半 一冊 五三七  
附 市野江村与五佐衛門東中江通り請負金 割賦金受取書 岩手組佐藤八平宛 丑九月二七日

湯本佐三右衛門書状〔下条村御蔵米之儀岩手村納に仕りたく〕 佐藤八平宛 一二月二五日 一通 五三九

上納米津出差引覚 下条村多次右衛門 辰五月一  
七日 一通 五九二

下条村多次右衛門駄賃錢請取書 佐藤八平宛  
申七月一二日 一通 五三七

上小野村彦右衛門覚書〔米御渡し下させらるべき  
旨〕 岩手村大肝煎所宛 辰一二月二二日 一通 五四七

刺 米

\*辰刺米内残シ置候分割返請取帳 宝曆一二年一  
一月 横長美 一冊 五四九・三

郡中組内小懸

\*当四年小懸金請取書 佐藤八平 下金原村庄屋市  
郎左衛門宛 宝曆三年一二月 一通 五四七・一

（下条陣屋造立入用勘定書綴）  
一綴 五三六  
（五通）

普 請

郡中割普請

茨沢村請負人惣右衛門金子請取書〔子安台堰受  
負金〕 岩手組佐藤八平宛 延享三年五月二六日、  
四月二八日 二通 五三六

\*〔藁縄人足賃錢組々割賦帳〕 稲田町曾野右衛門  
佐藤八平宛 卯正月八日 一冊 五四九・一

\*片貝村御普請賃錢請取書 脇野田組片貝村庄屋善  
右衛門 岩手組宛 寅一二月 一通 五四九・二

\*松野木川大堰并新堀入札金請取書 請負人今池村  
久左衛門代樋場村喜十郎 岩手組佐藤八平宛 丑  
七月八日 一通 五九二・五

岩手組諸村普請所

\*岩手組大肝煎佐藤八平願書下書〔岩手村高畑村  
立会橋普請杉木代の拝借願〕 御手代中宛 宝曆  
二年一〇月 一通 五三〇

\*岩手村高畑村立会橋懸替手当金拝領願書 一括 三通 五三三

1 岩手村与頭太左衛門仁兵衛願書控〔岩手  
村高畑村立会橋懸替手当金拝領願〕 岩手組  
大肝煎佐藤八平加判 郡御奉行所宛 宝曆二  
年六月 二通

2 大肝煎佐藤八平願書下書〔御手当金再  
願〕 御奉行所宛 宝曆二年一〇月 一通

戸 口

宗門改帳

下美守郷中組芋嶋村宗門御改帳断簡 寛保二年  
八月 一冊 九七

改寺改宗

岩手組猿毛村吉次郎願書〔吉次郎女房つた旦那寺  
改寺願の取次願〕 庄屋組頭加判 大肝煎所宛  
宝曆五年三月 一通 五六一

村 政

治安・吟味

岩手組大肝煎佐藤八平内々口上書控〔乱暴人名川にて行方不明につき内々口上〕御手代中宛  
卯四月二五日  
一通 五四六

その他

西野嶋村八木彦四郎状箱送状〔岩手村大肝煎所  
へ〕西野嶋外村々庄屋中宛 二月二一日  
一通 五四三

佐藤八平差出手形〔上金原村ほかへ銭相渡さるべ  
く〕馬正面村庄兵衛宛 亥七月三日  
一通 五三五

岩手村

支配

触・達

新検ニ付被仰出書窺書等留帳写 天和三年〔寛延  
三年四月写〕  
一冊 五四九

\*領奉行郷村触書写 寛保四年二月

〔御触書留〕 寛政八年  
一通 五四〇九

太政官達写〔各府県管内布達文書等に長官の名前を  
付すべき旨〕 壬申〔明治五年〕九月  
一通 九七六

夫人足・伝馬御用

○幕末・維新时期〔戊辰戦争等〕

↓『岩手村』『貢租・諸懸』のうち、  
「明治」○郡中人馬負担軽減願  
〔二六頁〕をみよ。

土地

高反別帳・地曳帳

岩手村 本新田畑反別六畝当西  
早稲中稲晚稲反別内訳  
元禄六年八月  
一冊 五七四

字門前田畑屋敷地曳帳斷簡

表紙共 二丁 九七四

地租改正・地押調査

岩手村改正用掛佐藤文吉請書控〔社寺境内区別定杭打立の件請書〕 新潟県除地掛御中宛 明治八年二月五日

一通 九九六

岩手村改正用掛佐藤文吉願書〔用水溜民有地編入願〕 新潟県令永山盛輝宛 明治一〇年三月

一通 九九五

本間少属演説方写〔官民有地取調并除地其他内検のため巡回につき〕 七月一五日

一通 九八六

民有地第一種類一筆限表雛形

一通 九三八

第七大区小八区岩手村民有地官有地反別書上

一通 九四八

絵図・地図

中頸城郡黒川村大字岩手全図 製図者中村市作・地主惣代佐藤興吉ほか二名 明治一九年一〇月

一枚 九五七

岩手村佐藤文吉絵図面借用念書下書并控〔岩手村書立絵図面〕 梶村大瀧甚十郎宛 明治七年三月一五日

二通 九七三

貢租・諸懸

享保

享保十七年諸村持高年貢諸懸り算用目録等

袋入 六點 五三六

1 享保十七年諸村持高年貢諸懸り算用目録等綴 岩手村友右衛門宛 享保一七年

一綴 (二六通)

2 石塚九郎兵衛書狀〔高田にて御名跡御極りなされ御祝、並びに頼母子御無心の件ほか〕 佐藤友右衛門宛 一〇月五日

一通

3 某書狀下書

前欠

一通

4 阿弥陀瀬村庄屋新三郎丑御年貢金諸役高懸金割賦目録 岩手村友右衛門宛 享保一八年二月

一通

5 吉左衛門書狀 佐藤八平宛 一二月二八日

一通

6 辛嶋村与左衛門金子預り覚〔当酉小懸方取替金〕 岩手村友右衛門宛 寛保元年極月

一通

\* 当丑之年入上米覚 あみたせ村三郎右衛門 佐藤友右衛門宛 享保一八年二月

一通 五五六

阿弥陀瀬村三郎右衛門入上米差引勘定覚 佐藤友右衛門宛 享保二〇年二月

一通 五七六

阿弥陀瀬村庄屋新三郎当卯年貢米金并諸出銀割賦目録 岩手村友右衛門宛 享保二〇年二月

一通 五七六

\* 赤沢村外諸村持高年貢米諸懸り算用目録并品代勘定書等 享保二〇年ほか

一括 一八通 五五四

元文

納米算用覚 吉田与一右衛門 坂口多惣右衛門宛 元文二年二月

一通 五四三

寛保

寛保二年諸村持高年貢諸懸り算用目録・品代請取・品代勘定書・蔵納米差引勘定書等綴 寛保二年

一綴 (三九通) 五八九

延 享

延享二年蔵納小手形綴等

包紙入 一三点 五三七

〔注〕4、5、6は一括されていたもの。9、12は一括されていたもの。他年のもの(13)を含む。

- |  |       |
|--|-------|
| 1 蔵納米小手形綴 岩手村宛 丑(延享二年)                         | (二〇綴) |
| 2 三二右衛門書状 御隠居宛                                 | 一通    |
| 3 水野村仁郎右衛門書状 岩手村佐藤旦那宛<br>五月二十七日                | 一通    |
| 4 内山和助書状〔専左衛門急死の旨〕 佐藤喜太郎宛 三月二十九日               | 一通    |
| 5 内山和助書状 尊兄宛 三月十九日                             | 一通    |
| 6 田中専左衛門書状 内山和助宛 三月十八日                         | 一通    |
| 7 楡井美右衛門・渡辺林右衛門ほか書状綴 佐藤宛                       | (一綴)  |
| 8 米山寺村庄屋清左衛門当午御年貢米金諸役金算用目録 岩手村八平宛 午一二月         | 一通    |
| 9 当丑小懸金請取算用目録 佐藤八平 岩手村宛 延享二年二月                 | 一通    |
| 10 潟町釘屋伊兵衛代金受取書 岩手村八平宛 丑六月一七日                  | 一通    |
| 11 関川村五太夫金子請取書〔田切橋関川橋材木はこひ人足賃〕 佐藤久左衛門宛 丑一月二十九日 | 一通    |

12 橋人足等算用覚

一通

\*13 阿弥陀瀬村庄屋与次兵衛当午小物成大豆代諸懸り永割賦目録 岩手村八平宛 文政五年十二月

一通

\*下条村安右衛門小懸り金請取証文 佐藤八平宛 延享二年閏二月二〇日

一通 五五四四九

寛 延

寛延二年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴 寛延二年

(一冊綴) 五三八

宝 暦

宝暦四年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴 宝暦四年

袋入 (一冊綴) 九七六

大肝煎佐藤八平当丑年小懸金請取覚 岩手村宛 宝暦七年二月

一通 五五三

宝暦七年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴 宝暦七年

(一綴) 五三三

宝暦八年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等

一括 三点 五四四

1 宝暦八年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴 宝暦八年

(四二綴)

2 八木瀬助書状〔米仕切値段につき〕 佐藤八平宛 二月七日

一通

3 湯本三太右衛門書状〔上小野百木下小野落合四ヶ村一件内熟につき濟口江戸表へ差し上げの件〕 佐藤半治宛 二月一日

一通

宝暦十一年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴 宝暦十一年

(一綴) 五九二

大肝煎佐藤八平当午小懸金請取寛 (岩手村)  
庄屋平六宛 宝曆一二年一二日

一通 五四七

明和

明和五年諸村持高年貢諸懸り算用目録・品代勘  
定書・蔵米受取書等綴 明和五年

一綴 (四冊) 五二四  
(九一通)

安永

安永三年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘  
定書等綴 安永三年

一綴 (二冊) 五三八  
(六六通)

安永四年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘  
定書等綴 安永四年

一綴 (二冊) 五七三  
(六三三通)

安永六年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘  
定書等綴 安永六年

一綴 (三冊) 九八一  
(六九通)

岩手村年貢米手形替証文并諸村持高年貢諸懸り  
算用目録等綴 岩手村庄屋松五郎宛 安永七年

一綴 五九二  
(一二通)

先納金支配目録〔支配人共難渋につき取替願〕安  
永六年・九年

包紙入 六冊 五八八

1 子先納金目録 芋嶋村彦右衛門 岩手村喜  
太郎宛 安永九年五月一三日

一冊 横長美

2 亥先納金支配目録 芋嶋村庄屋彦右衛門  
岩手村喜太郎宛 安永八年

一冊 横長美

3 (酉支配目録) 芋嶋村庄屋彦右衛門 岩  
手村喜太郎宛 安永六年一二月二二日

一冊 横長美

4 戌先納金小前目録 芋嶋村庄屋彦右衛門  
岩手村喜太郎宛 戊戌五月(安永七年)

一冊 横長美

5 戌先納金元利御返済米目録 芋嶋庄屋彦右  
衛門 岩手村喜太郎宛 戊戌二月(安永七年)

一冊 横長美

6 (先納金御才覚請取目録) 芋嶋村上灰  
庭新田庄屋彦右衛門ほか 岩手村喜太郎宛  
安永六年三月

横長美

一冊

7 包紙

天明

天明元年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘  
定等綴 天明元年

一綴 (一冊) 五三〇  
(四九通)

天明三年諸村持高年貢諸懸り算用目録并蔵米諸  
手形等

一括 八点 五七

〔注〕「寛政十一年十二月 当未年小物成大豆代  
・国役金・冥加銀・郡中組内小懸り金等請  
取書」(九〇七八)と一括されていたもの。

1 天明三年諸村持高年貢諸懸り算用目録并  
品代勘定書等綴 天明三年

一綴 (三冊) 五三〇

2 岩野村八郎兵衛ほか御年貢廻り米目録・  
御年貢米差引目録等綴 岩手村松五郎ほか  
宛 寅一二月、一二月

一綴 (五通)

3 蔵納米小手形綴 岩手村宛 寅一二月

一綴 (一五通)

4 上小野村勘右衛門廻し米手形綴 岩手村  
庄屋所宛 寅一〇月、一二月

一綴 (四通)

5 米山寺村茂八蔵米請取手形 岩手村庄屋  
所宛 寅一〇月二二日、二八日

一綴 (三通)

6 黒岩書役半左衛門十六ヶ村五人組帳等代  
銀勘定寛 百木書役佐兵衛・松五郎宛 寅  
一二月一二日

一通

7 佐藤丹治書狀 佐藤松五郎宛 二月一六日

一通

8 中山村文左衛門 金錢請取書 岩手村庄屋  
所宛 二月六日

\* 田方反別居屋鋪并山畑相改写帳 鷹海村喜兵衛  
岩手村喜太郎宛 天明五年三月

天明七年廻し米手形等

横長美 一冊 五七五十二

一括 二点 五八八

1 上小野勘右衛門外廻し米手形綴 岩手村  
庄屋所ほか宛 天明七年

(一七通)

2 蔵納米小手形綴 岩手村宛 申一〇月一  
二月

一綴

水野村庄野喜惣治当未米金目録 岩手村喜太郎  
宛 天明七年二月

一通 五三九

岩手村小懸差引等綴〔袋表書「天明七年十二月  
未御年貢米帳 岩手村」〕(天明七年)

袋入 一綴 五三三  
(六通)

### 寛政

御年貢米小札 寛政元年ほか

袋入 六点 五三四

1 蔵納米小手形綴 岩手村宛 酉(寛政元年)  
一〇月一二月

(二三通)

2 廻し米手形等綴 寛政元年

(一綴)  
(一二通)

3 竹直村久右衛門当酉入立米差引勘定目録  
等綴 岩手村喜太郎宛

(一綴)  
(三通)

4・5 下条村太次右衛門廻し米手形 岩手  
村喜太郎宛 戊一〇月二三日、一〇月二九日

二通

6 蔵納米寛

後欠 一通

戌買物目録等 寛政二年一二月

袋入 一七点 五三〇

〔注〕表題と異なる内容、年代のものを多く含む。1・7は一括さ  
れていたもの。8・17は一括されていたもの。

1 田庄書状〔今晚御招申上候儀につき〕小林・  
佐藤公宛 五日 一通

2 芋嶋村彦右衛門当末小役小物成諸役銀請  
取目録 岩手村喜太郎宛 未二月七日 一通

\* 3 大肝煎所用状〔里方桜町新田は山方夫喰相  
加え、七ヶ村今度願書に御除きなさるべき旨〕  
里方庄屋中宛 二六日 一通

4 弥五兵衛品代勘定書〔手斧ほか〕 佐藤喜  
太郎宛 戌十一月 一通

\* 5 大肝煎所用状〔夫喰願之儀、里方相除御願  
御取組候様〕山方庄屋中〔松五郎ほか二名〕  
宛 二月二六日 一通

6 元利金引当米等差引勘定寛 星野孫右衛  
門 佐藤松五郎宛 卯正月二五日 一通

7 仁平書状 佐藤八平宛 一通

8 半ざ〔半左衛門〕書状 大人宛 一二月一  
四日 一通

9 半左衛門書状 喜太大神宮宛 一二月一五  
日 一通

10 はは書状 佐藤八兵衛宛 四月二三日 一通

11 景山書状 六四郎宛 五月二六日 一通

12 星野孫作書状 佐藤喜太郎宛 一月晦日 一通

13 星野半左衛門書状 佐藤喜太郎宛 一月  
三〇日 一通

14 星野孫右衛門口上書〔当小物成金大豆代小掛銀等は去暮過米代金之内にて引継に致申候旨〕 庄屋喜太郎宛 戊辰二月五日

15 半左衛門書状 喜太郎宛 一二月九日

16 子龍書状 里義大伯宛 極月五日

17 里う人書状 里き大君宛 一二月九日

寛政三年年貢米場詰書類

1 御年貢米小手形帳 岩手村 寛政三年一月

2 〔郷藏場詰差引帳下帳カ〕

3 藏納小手形綴 岩手村宛 亥〔寛政三年〕

4 廻し米手形・場詰差引帳等綴 寛政三年

5 手形廻入袋 寛政三年一月

寛政四年納米書類

1 廻し米手形・納米手形替証文等綴 寛政四年

2 御年貢米小手形帳 寛政四年一月

3 下条御藏場詰切取米留帳 黒岩組岩手村扣 寛政四年二月

4 〔寛政四年子場帳〕 寛政四年

子年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書・書状等 〔寛政四年〕

〔注〕 以下、五四一三〇五四三五は一括されていたもの。大半が寛政四年のものである可能性が高い。

渡辺兵左衛門書状・佐藤八平書状綴 佐藤惣左衛門宛 一綴 五四三

新部六二右衛門書状〔百木落合兩村庭目録指上その他〕 佐藤喜太郎宛 〔寛政四年〕 一二月二八日 一通 五四四

百木村・落合村庄屋当子年貢諸懸り算用目録等 岩手村喜太郎宛 寛政四年一月 四通 五四二

新部孫兵衛品代勘定書〔塩ほか〕 佐藤喜太郎宛 子〔寛政四年カ〕 一二月 一通 五四五

下小野村庄屋六右衛門助左衛門当子小物成諸懸り割賦目録 岩手村喜太郎宛 子〔寛政四年カ〕 一二月二二日 一通 五四六

下小野村茂左衛門入立米差引覚 岩手村喜太郎宛 子〔寛政四年カ〕 一二月六日 一通 五四七

去年当村場未進米差引覚 小池安左衛門 佐藤喜太郎宛 五月七日 一通 五四八

鷹海村庄屋茂右衛門当子年貢米諸番給并出金算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政四年一月 一通 五四九

芋嶋村松五郎品代勘定書〔くしかへ共、皿十ほか〕 佐藤喜太郎宛 子二月 一通 五四〇

仙左衛門品代勘定書〔鯉節ほか〕 佐藤喜太郎様御取次衆中宛 子〔寛政四年カ〕 一二月二一日 一通 五四一

行塚〔カ〕 安左衛門代金勘定書〔板木代、工賃ほか〕 高原宛 子〔寛政四年カ〕 一二月 一通 五四三



。星野孫右衛門用狀 佐藤大兄宛 子（寛政四年 カ）二月	附共 三通 五三
附 当子小物成銀大豆代等請取書 大肝煎 所 岩手村庄屋喜太郎宛 子二月四日	
。米山寺八郎右衛門人足書上覚 喜太郎宛 子 （寛政四年カ）二月	一通 五四
。下小野市右衛門品代勘定書 高原佐藤宛 子 （寛政四年カ）二月	一通 五四
。下灰庭新田村庄屋又三郎当子小役小物成大豆 代小懸り銀割賦目録 岩手村喜太郎宛 寛政 四年二月	一通 五四
。上小野木村勘右衛門米代勘定書 岩手佐藤喜 太郎宛 二月二十八日	一通 五七
。幸左衛門金錢勘定覚 喜太郎宛 子（寛政四年 カ）二月二十七日	一通 五八
。下条貞平入立米勘定覚 岩手村喜太郎・甚左衛 門宛 寛政四年二月	一通 五九
。星野孫右衛門書狀 佐藤喜太郎宛 子（寛政四 年カ）二月二十一日	一通 五九
。水野村庄屋喜惣次当子米金目録 岩手村喜太 郎宛 子（寛政四年カ）二月二十七日	一通 五三
。高畑安次郎書狀 高原大兄宛 二月二〇日	一通 五三
。小物成大豆代諸懸り差引算用目録写（大肝 煎 星野半左衛門 佐藤喜太郎宛 一月	附共 二通 五三
。密蔵院覚書（金三步持参） 岩手村佐藤喜太郎 宛 極月六日	一通 五四
。辰年錢両替・米値段覚	一通 五三

寛政七年諸村持高年貢諸懸り算用目録等	一括 六點 五三五
〔注〕1は包紙に使われていたもの	
1 籠嶋伝右衛門・佐藤八平書狀下書（仁平 惣兵衛出府中病氣につき金子才覚之儀仰下さ れ候件） 仁平惣兵衛御親類中宛 二月五日	一通
2 5百木村外諸村持高年貢諸懸り算用目 録 寛政七年二月	四通
6 酒之御通 米山寺村酒屋 岩手村高原宛 天保二年	横半半 一冊
下灰庭新田村庄屋又三郎御年貢米諸懸り割賦目 録 岩手村喜太郎宛 寛政七年二月、寛政八年三 月	継一通 （四通） 五二六
廻し米手形・蔵納米差引勘定書等級 卯年（寛 政七年） 寛政八年	（二五綴） 五二二
芋嶋村庄屋彦右衛門当卯年貢米諸懸り金算用目 録 岩手村喜太郎宛 寛政七年二月、八年三月一 七日	継一通 （五通） 五二二
下条村太次右衛門并庄屋幾右衛門当卯御年貢米 諸懸り金算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政七年一 二月	一通 五七三
下条村庄屋太次右衛門当辰年貢米小物成大豆代 小懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政八年一二 月	継一通 （三通） 五四六
米山寺村庄屋幸左衛門当辰御年貢米金并郡中組 内村入用算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政八年一 二月	一通 五四八
買物目録 寛政八年一二月	袋入 一三點 五九五

1 諸品代金勘定書 喜八、木挽安左衛門、上直海村文左衛門、馬正面村孫兵衛、五郎兵衛、米山寺村酒や佐右衛門、芋嶋紺屋和右衛門、高田山形屋定治郎、善兵衛、竹直村文助 佐藤宛

飯二冊  
一〇通

13 水野村庄屋喜惣次当辰米金目録 岩手村喜太郎宛 寛政八年十二月

一通

上納目録入 寛政九年十二月

袋入 二一点 五五五

〔注〕 5と8は一括されていたもの。15と16は一括されていたもの。  
20と21は一括されていたもの。

1・2 星野半左衛門書状〔手酒・塩鱈等進呈の件ほか〕已〔寛政九年〕十二月二十六日 附 赤沢九兵衛覚書 十一月五日

附共  
二通

3 鴈海村庄屋金左衛門当已御年貢米出金算用目録 岩手村喜太郎宛 已〔寛政九年〕十二月

一通

4 芋嶋村庄屋彦右衛門当已金方目録并米方目録 岩手村喜太郎宛 寛政九年十一月

繼一通  
(二通)

5 灰庭新田村庄屋又三郎当御年貢米諸上納金算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政九年十二月

繼一通  
(四通)

6 下灰庭新田村庄屋又三郎当御年貢米指引目録写 米山寺市郎左衛門宛 寛政九年十二月

一通

7 下灰庭新田村庄屋又三郎当御年貢米指引目録写 米山寺村藤左衛門宛 寛政九年十一月

一通

8 米山寺過米岩手帳と差引寛

一通

9 米山寺村庄屋幸左衛門当已御年貢米金諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 已〔寛政九年〕十二月

一通

10 猿毛村兼帯村庄屋茂右衛門已年貢米諸懸り算用目録 岩手村喜多郎宛 已〔寛政九年〕十一月

一通

11 中山村庄屋茂右衛門已小役大豆代諸懸り算用目録 岩手村喜多郎宛 已〔寛政九年〕十一月二十八日

一通

12 百木村庄屋所当已米納并高懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政九年十二月

繼一通

13 赤沢村庄屋伊左衛門吉郎左衛門当已御年貢米指引目録并当已諸掛金算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政九年十一月二十二日

繼一通  
(二通)

14 阿弥陀頼村庄屋惣右衛門当已入立勘定・辰年預米已夏勘定并当已年御上納高掛諸出永算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政九年十二月

繼一通  
(二通)

15 下条村庄屋幾左衛門当已小掛小物成大豆代等割賦目録・同村太次右衛門当已御年貢米指引勘定目録・同村貞平田畑入立米勘定目録 岩手村喜太郎宛・岩手村甚左衛門宛 寛政九年十二月

繼一通  
(四通)

16 下条村庄屋幾左衛門当已小掛小物成大豆代国役懸割賦目録 岩手村喜太郎宛 已〔寛政九年〕十二月

一通

17 落合村兼帯村庄屋平三郎外二名当已小物成小掛指引目録并皆済目録 岩手村喜太郎宛 寛政九年十二月

繼一通  
(二通)

18 水野村庄屋喜惣治当已米金目録 岩手村喜太郎宛 已〔寛政九年〕十二月

一通

19 下小野村庄屋弥五左衛門助右衛門年貢諸  
懸算用目録 岩手村喜太郎宛 巳(寛政九  
年)二月 一通

20 半左(星野半左衛門) 書状 佐藤大尊宛  
二月二十八日 一通

21 星野半左衛書状〔出来差引勘定〕 佐藤喜  
太郎宛 巳(寛政九年)一〇月一日 一通

午御上納目録 寛政一〇年 袋入 三九点 六〇

〔注〕 1と2は一括されていたもの。 15と18は一括されていたもの。

1・2 芋嶋村庄屋彦右衛門当千米方目録并  
金方指引目録 岩手村喜太郎宛 寛政一〇  
年二月 二通

3 水野村庄屋喜惣治当千米金目録 岩手村  
喜太郎宛 午(寛政一〇年)二月 一通

4 落合村兼帯庄屋平三郎外二名御納所等皆  
濟寛 岩手村喜太郎宛 寛政一〇年二月 一通

5 蔵納米寛 高原宛 一通

6 下小野村庄屋弥五左衛門助右衛門当千  
貢諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 午  
(寛政一〇年)二月 一通

7 米山寺村庄屋幸左衛門当千御年貢米金諸  
懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一〇  
年二月 一通

8 落合村兼帯庄屋平三郎外二名当千小物成  
大豆代組内村方諸掛算用目録 岩手村喜  
太郎宛 寛政一一年二月 一通

9 下条村太次右衛門当千御年貢算用目録  
岩手村佐藤喜太郎宛 寛政一〇年二月 一通

10 下小野見セ品代勘定書 岩手村佐藤宛  
午(寛政一〇年)二月 一通

11 善兵衛品代勘定書〔酒代〕 高原宛 午(寛  
政一〇年)二月 一通

12 過納永渡方寛 庄屋幸左衛門 喜太郎・甚  
左衛門宛 午(寛政一〇年)二月 一通

13・14 下条村貞平入立米差引勘定寛 岩手  
村喜太郎宛 甚左衛門宛 午(寛政一〇年)  
二月 二通

15 新部六右衛門書状〔両村庭目録差上〕 佐藤  
喜太郎宛 一二月二七日 一通

16 阿弥陀瀬村庄屋伝右衛門当千年貢諸懸り  
算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一〇年一  
二月 一通

17 阿弥陀瀬村惣右衛門去巳惣入立米御預り  
当千夏勘定寛 岩手村喜太郎宛 寛政一〇  
年二月 一通

18 阿弥陀瀬村惣右衛門当千入立米預り勘定  
寛 岩手村喜太郎宛 寛政一〇年二月 一通

19 庄屋幸左衛門当千米納飯目録 午(寛政  
一〇年)二月一七日 一通

20 鷹海村庄屋金左衛門当千御年貢并三分一  
小物成諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 一  
二月 一通

21 下灰庭新田村庄屋又三郎当千御年貢米算  
用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一〇年一二  
月 一通

22 下条村庄屋太次右衛門当午小物成大豆代 小懸銀算用目録 岩手村甚左衛門宛 寛政一〇年二月	一通
23・24 赤沢村庄屋伊左衛門吉郎左衛門当午 年貢米算用目録并高懸り永算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一〇年二月	二通
25 行塚(カ)安左衛門勤人足寛書 高原宛 午(寛政一〇年)二月	一通
26 百木村庄屋所当午年貢諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一〇年二月	一通
27 品代勘定覚〔鯛・鱒ほか〕	仮一冊
28 覚書〔茂太郎事田中甫三につき、その他〕	一通
29 蔵納小手形 岩手村宛 午(寛政一〇年)二月二十五日	一通
30 芋嶋村松五郎品代勘定書 岩手村佐藤喜太郎宛 午(寛政一〇年)二月	一通
31 薩美治太郎書状 二月二三日	一通
32・33 星野半左衛門書状〔金子差上候間御受取成さるべき旨、その他〕 佐藤喜太郎宛 午(寛政一〇年)二月一日五日	二通
34 下灰庭新田村庄屋又三郎当午小物成小懸諸出銀割賦目録 岩手村喜太郎宛 寛政一〇年二月	一通
35 上和新田村庄屋所午諸役銀上納辻請取書 岩手村喜太郎宛 寛政一〇年二月	一通
36 百木村利左衛門品代勘定書 岩手村佐藤喜太郎宛 午(寛政一〇年)極月	一通

37 蠟代一人別勘定覚	一通
38 下条村庄屋太次右衛門当午小物成大豆代 小懸銀算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一〇年二月	一通
39 半左衛門書状〔真鴨二羽惠贈御礼〕 喜太郎宛 二月一六日	一通
未上納目録入 岩手村喜太郎 寛政一一年一月 袋入 三一点五三	
〔注〕 以下は二括されていたもの。2と3、5と6、7と9、10と11、14と15、16と20、26と29。他年のもの(31)を含む。	
1 下灰庭新田村庄屋又三郎当未諸出銀割賦目録 岩手村喜太郎宛 寛政一一年二月	一通
2 阿弥陀瀬村庄屋惣右衛門当未高掛り永等割賦目録 岩手村喜太郎宛 未(寛政一一年)二月	一通
3 阿弥陀瀬村惣右衛門当未米入立米并去午預り米夏勘定覚 岩手村喜太郎宛 寛政一一年二月	一通
4 下小野村庄屋年貢諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 未(寛政一一年)二月	一通
5 下灰庭新田村庄屋又三郎当未御年貢米割賦目録 岩手村喜太郎宛 寛政一一年二月	一通
6 下灰庭村又三郎銀納差引勘定覚 岩手村喜太郎宛 未(寛政一一年)二月二〇日	一通
7 米山寺村庄屋幸左衛門当未御年貢米金郎中組内村小懸共割賦目録 岩手村喜太郎宛 寛政一一年二月	一通

8	米山寺村庄屋幸左衛門去未暮場詰米切違等改寛 岩手村喜太郎宛 申(寛政一二年)二月	一通
9	場詰米改寛 熊屋敷 高原宛	一通
10	下赤沢村庄屋伊左衛門当未御年貢算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一二年二月	一通
11	赤沢村庄屋当未諸小掛金差引勘定目録 岩手村喜太郎宛 寛政一二年二月	一通
12	中山村庄屋茂右衛門諸懸り銀算用目録 岩手村喜太郎宛 未(寛政一二年)一二月	一通
13	鴈海村金左衛門当未高懸り米金目録 岩手村喜太郎宛 未(寛政一二年)一二月	一通
14	星野半左衛門借用金差引勘定覚 佐藤喜太郎宛 未(寛政一二年)一二月	一通
15	星野半左衛門借用金差引勘定覚 佐藤喜太郎宛 未(寛政一二年)一二月二六日	一通
16	岩手村分初蔵入覚 立会下条村弥五兵衛外一名 未(寛政一二年)一二月三日	一通
17	下条村源吉田畑入立米等差引勘定覚 岩手村甚左衛門宛 未(寛政一二年)一二月	一通
18	下条村源吉田畑入立米等差引勘定覚 岩手村喜太郎宛 未(寛政一二年)一二月	一通
19	下条村庄屋幾右衛門当未小掛大豆代小物成国役等割賦目録 岩手村文左衛門宛 未(寛政一二年)一二月	一通
20	下条村庄屋幾右衛門当未小掛大豆代小物成国役等割賦目録 岩手村喜太郎宛 未(寛政一二年)一二月	一通

佐藤家文書目録 岩手村 貢租・諸懸

21	上輪新田村庄屋所未御上納其外諸懸り物算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一二年一二月	一通
22	猿毛村兼帶庄屋茂左衛門未年年貢諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 未(寛政一二年)一二月	一通
23	新部与一左衛門書状 佐藤喜太郎宛 一二月九日	一通
24	水野村庄屋喜惣治当未米金算用目録 岩手村喜太郎宛 未(寛政一二年)一二月	一通
25	芋嶋村彦右衛門当未小役大豆小懸り諸色算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一二年一二月	一通
26	百木村庄屋所当未米納方算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一二年一二月	一通
27	百木村庄屋所当未出永算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一二年一二月	一通
28	落合村兼帶庄屋平三郎外未年米納方算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一二年一二月	一通
29	落合村兼帶庄屋平三郎外未年小物成大豆代郡中組内諸掛り等算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一二年一二月	一通
30	芋嶋村彦右衛門当未米方算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政一二年一二月	一通
31	黒岩村佐五右衛門上ヶ過金請取覚 佐藤八平宛 延享三年五月五日	一通
	未小懸目録入 寛政一二年	袋入 一三点 五四九

〔注〕右の表題以外のもの、他の年のものを含む。1と2は一括されていたもの。

- \*1 (薬縄人足賃錢組々割賦帳) 稲田町曾野右衛門 佐藤八平宛 卯正月八日 一冊
- \*2 片貝村御普請賃錢請取書 脇野田組片貝村庄屋善右衛門 岩手組宛 寅一一月 一通
- \*3 辰刺米内残シ置候分割返請取帳 宝曆一二年一一月 一冊 横長美
- 4 当未岩手村切入米覚 下条村庄屋ほか 岩手村庄屋中宛 未(寛政一一年) (一綴三通)
- 5 人足書上(年始供、御目付様送人足ほか) 午二二月未一〇月 仮一冊
- 6 御役人御泊り并送人足書上 岩手村庄屋喜太郎 御立会庄屋衆中宛 未(寛政一一年) 一通
- 7 諸上納組内小懸り割賦目録 割方立会庄屋 岩手村喜太郎宛 寛政一一年一一月二〇日 一通
- 8 (喜太郎取替雑用金書出) (御役人御泊り雑用金ほか) 横長美 一冊
- 9 水野村次郎右衛門口上書(金子拝借願) 岩手村高原旦那宛 極月二日 一通
- 10 八品東割取立米覚 一通
- 11 下条郷蔵割賦当り覚(岩手村分) 未(寛政一一年カ)一一月二二日 一通
- 12 蔵入米書上 一通
- 13 未取米并割賦覚 一通

当未年小物成大豆代・国役金・冥加銀・郡中組内小懸り金等請取書 大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政一一年一二月 (一綴 四通 七六)

〔注〕「天明三年諸村持高年貢諸懸り算用目録并蔵米諸手形等」(九〇七七)と一括されていたもの。

- 小懸り割賦并請取書等 寛政一二年 一括 五通 五九三
- 1 惣高割役高割等小懸銀割賦目録 割方立会 岩手村庄屋中宛 寛政一二年一一月 一通
- 2 当申年小懸銀請取目録 大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政一二年一一月二五日 一通
- 3 去未年越後国川々御普請御国役高懸金請取書 大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋喜多郎宛 寛政一二年一一月 一通
- 4 小物成大豆代請取書 大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政一二年一二月 一通
- \*5 松野木川大堰并新堀入札金請取書 讀負人今池村久左衛門代樋場村喜十郎 岩手組佐藤八平宛 丑七月八日 一通
- 享和
- 芋嶋村庄屋彦右衛門当酉米納方算用目録 岩手村喜太郎宛 享和元年一二月 一通 九〇三
- 文化
- 大肝煎所申年上納諸懸り請取覚 文化九年 五通 五四四
- 1 小物成大豆代請取覚 大肝煎所 岩手村庄屋中宛 文化九年一二月 一通

2 当中年夫金請取覚 大肝煎所 岩手村庄屋中宛 文化九年一二月	一通	
3 浮役銀請取覚 大肝煎所 岩手村庄屋松兵衛・松五郎宛 文化九年一二月	一通	
4 御国役銀請取覚 大肝煎所 岩手村庄屋松兵衛・松五郎宛 文化九年一〇月九日	一通	
5 郡中組内諸懸り永請取覚 大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋松兵衛・松五郎宛 文化九年一二月	一通	
当西小物成諸役大豆代・国役銀・夫金・小懸銀等請取目録 大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋中宛 文化一〇年一二月	一綴 (五通) 五四五三	
諸村用状・藏米請取書等	一括 四点 五三五	
1 諸村用状・藏米請取書・年貢諸懸り算用目録等綴 岩手村佐藤宛 (文化九年・文化一〇年)	一綴 (三五通)	
2 下小野市右衛門品代勘定書 高原佐藤宛 未二月二〇日	一通	
3 松右衛門書状断簡 一通	一通	
4 馬正面村新部孫兵衛書状 佐藤喜太郎宛 未二月一九日	一通	
附 孫兵衛代金目録〔鱒四本ほか〕	附共 二通	
文政五年下灰庭新田算用目録	二通 五二五	
1 下灰庭新田庄屋定吉当午米納方算用目録 岩手村八平宛 文政五年	一通	
2 下灰庭新田庄屋定吉当午小役小物成大豆万雜諸出永算用目録 岩手村八平宛 文政五年	一通	
芋嶋村庄屋外国役銀割賦書并請取書 岩手村八平宛 松五郎宛 文政五年一〇月	三通 五三四	
*馬正面村庄屋美右衛門六郎右衛門当午小物成大豆代并諸懸り永割賦目録 岩手村八平宛 文政五年一二月	一通 五五四・七	
*上和新田村去年諸万雜割賦目録 岩手村懸持八平様分支配人九左衛門宛 文政五年一二月 附 馬足米覚	附共 二通 五四四・五	
*鴈海村庄屋金左衛門当午年小物成大豆代并諸懸り割賦目録 岩手村八平宛 文政五年一二月	一通 五五四・五	
*阿弥陀瀬村庄屋与次兵衛当午小物成大豆代諸懸り永割賦目録 岩手村八平宛 文政五年一二月	一通 五三七・三	
芋嶋村庄屋与市郎当末年貢米算用目録 岩手村八平宛 文政六年一二月	一通 五三五	
中御用金目録 文政七年(八八年)	袋入 二四点 五九三	
1 鴈海村外諸村御用金割賦目録綴 岩手村八平宛 松五郎宛 文政七年六・八月	一綴 (二〇通)	
2 米山寺村外諸村御用金割賦目録等綴 岩手村八平ほか宛 文政八年七・八月	一綴 (四通)	
3 阿弥陀瀬村外諸村御用金割賦書等 岩手村八平宛 文政七年、八年	二二通	
芋嶋村庄屋与一郎当申米方算用目録 岩手村八平宛 文政七年一二月	一通 五四三	
米山寺村組頭平八当西諸役永郡中組内小懸り永算用目録 岩手村勇吉宛 文政八年一二月	一通 五四五	

文政十年諸村持高年貢諸懸り算用目録等綴 文政一〇年

一綴 (三一通) 五九二

子米金目録 文政一一年一二月

袋入 一三点 五三四

〔注〕他年のもの(8、10)を含む。

1 文政十一年諸村持高年貢諸懸り算用目録等綴 文政一一年

一綴 (二六通)

2 品代勘定書等綴

一綴 (二二通)

3 御通 高田中小町能登屋仙二郎・金藏 岩手村佐藤喜太郎宛 文政一一年正月

横半々 一冊

4 酒之御通 米山寺村酒屋佐左衛門 岩手村高原佐藤宛 文政一一年正月

横半々 一冊

5 御買物之通 野俣庄左衛門 佐藤宛 子(文政一一年)

横半々 一冊

6 御買物之通 当地三左衛門 高原宛 文政一一年正月

横半々 一冊

7 染物之御通 上小野村紺屋九郎左衛門 高原宛 文政一一年正月

横半々 一冊

8 阿弥陀瀬村惣左衛門小掛り方御用金差引永代割賦目録 岩手村八平宛 文政八年一二月

一通

9 阿弥陀瀬村惣左衛門小掛り方御用金差引割賦目録 岩手村佐藤宛 酉(文政八年)

一通

10 阿弥陀瀬村庄屋与次兵衛日光御用金割賦目録 文政八年八月

一通

11 今町甚右衛門金錢勘定覚 竹原村旦那宛 子(文政一一年) 一二月

一通

12 上輪新田村当子諸万雜割賦目録 岩手村懸持八平宛 文政一一年一二月

一通

13 人足人数覚

一通

天保

天保二年諸村持高年貢諸懸り算用目録・米預り証文等綴 天保二年

一綴 (三二通) 五三九

\* 芋嶋村林右衛門内蔵米積預り証文 岩手村友右衛門宛 天保二年一二月

一通 五三四・七

阿弥陀瀬村外諸村月割御用金割賦書等綴 岩手村八平・友右衛門宛 天保三年

一綴 (二四通) 五三九

品代勘定書・通帳等綴 天保六年 附 人足賃勘定覚

一綴 (三三通) 五三六

天保六年諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 天保六年

一綴 (二〇通) 五三七

\* 川田村市左衛門米積預り覚 岩手村佐藤宛 天保六年一二月

一通 五三四・五三

岩手村津出帳 天保七年

横長半 一冊 五六四

米金目録入袋 天保八年一二月

袋入 一八点 五三三

〔注〕5と6は一括されていたもの。7と8は一括されていたもの。10と11は一括されていたもの。

天保九年、一〇年その他の年のものを含む。

1 天保八年諸村持高年貢小懸り算用目録等綴 天保八年

一綴 (二四通)



2 当亥年諸上納金并郡役組内小懸り其外諸色請取目録 大肝煎飯役星野半左衛門 岩手村庄屋啓助宛 天保一〇年十一月	一通	
3 水野村庄屋仁左衛門当戌米金目録 岩手村友右衛門宛 天保九年十二月	一通	
4 天保十年諸村持高年貢諸懸り算用目録等綴 天保一〇年	一綴 (一九通)	
5 阿弥陀瀬村庄屋与治兵衛当亥大豆代小物成諸懸り割賦目録 岩手村八平宛 天保一〇年十二月	一通	
6 阿弥陀瀬村惣右衛門覚書〔去戌御手宛米代等差引〕 岩手村佐藤宛 亥(天保一〇年)十二月	一通	
7 谷沢弥市右衛門書状 佐藤慶助宛 十二月一〇日	一通	
8 籠嶋伝右衛門書状 佐藤啓助宛 十二月一日	一通	
9 谷沢弥一右衛門状 佐藤慶助宛 十二月一日	一通	
10 今町とま〔筈〕屋米代支払勘定書 岩手佐藤宛 亥霜月四日	一通	
11 今町とま〔筈〕屋品代勘定書〔茶・ふり大豆代ほか〕 佐藤宛 亥霜月四日	一通	
12 借米差引勘定書	一通	
13 上小野木村寛介書状〔下条村より入申候米目録〕いわて佐藤宛 二月三日	一通	
14 方山吉二郎書状〔金三分清左衛門へ渡候旨〕佐藤啓介宛 十一月二日	一通	
15 質物田地証文下書〔芋嶋村助左衛門持高田地〕	一通	
16・17 いとや(之)惣兵衛代金勘定書〔黒中立惣ちらし桜、紅入〕 岩手高原宛 申極月附 ぬいちゃん覚	附共 二通	
18 今町とま〔筈〕屋米代金支払勘定書 岩手佐藤宛 戌一〇月十九日	一通	
* 川田村外諸村持高年貢諸懸り算用目録等綴 天保九年	一綴 (二五通)	五三五四・一六
* 米山寺村庄屋庄右衛門戌御年貢米金諸懸り算用目録等 佐藤勇吉宛、啓助宛、友右衛門宛 天保九年十一月、十二月	一括 五通	五三五六・二六
水野村庄屋仁左衛門当亥米金目録 岩手村友右衛門宛 天保一〇年十二月	一通	五三九
天保十一年諸村持高年貢諸懸り算用目録等 天保一一年	一括 六通	五三七
1 下条村外諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 天保一一年十二月	一綴 (八通)	
2 阿弥陀瀬村与次兵衛当小物成諸出永割賦目録 岩手村宛 天保一一年十二月	一通	
3 鷹海村庄屋金左衛門当子小物成諸上納諸役銀割賦皆済目録 岩手村友右衛門宛 天保一一年十二月	一通	
4 芋嶋村庄屋作兵衛・与右衛門当子御年貢米上納目録 岩手村啓助宛 天保一一年	一通	

5 百木村庄屋所当子米納方并小物成万雜割賦目録 岩手村啓助宛 天保一二年一二月	一通
6 阿弥陀瀬村惣右衛門書狀〔近日中に御勘定参上の旨〕 岩手村佐藤宛 極月二六日	一通
川田村庄屋金兵衛当子小物成郡中組内諸懸永割賦目録 岩手村友右衛門宛 天保一一年一二月	一通 五六〇
天保十一年より十三年諸村持高年貢諸懸り算用目録等 天保一一年一三三	袋入 四点 五九〇
1 水野村外諸村持高年貢諸懸り算用目録等 綴 岩手村啓助宛、八平宛 天保一三年	一綴 (二五通)
2 水野村庄屋仁左衛門当丑米金目録 岩手村啓助宛 天保一二年一二月	一通
3 百木村庄屋所当寅米納方并小物成万雜方割賦目録 岩手村啓助宛 天保一三年一二月	一通
4 水野村庄屋仁左衛門当子米金目録 岩手村啓助宛 天保一一年一二月	一通
天保一四年諸村高年貢諸懸り算用目録 →「弘化三年午諸目録入」(五二五四)をみよ。	
弘化	
百木村庄屋所当巳米納方并小物成万雜方共割賦目録 岩手村啓助宛 弘化二年一二月	一通 五五九
午諸目録入 弘化三年正月	袋入 六五五 五五四
〔注〕 1、42は43を包紙として一括されていたもの。そのうち6、13、18、35、38、39は、それぞれ、さらに一括されていたもの。なお享保、延享、文政、天保等、他年のものを含む。	

1 鴈海村外諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 弘化三年一二月	一綴
2 猿毛村外諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 天保一四年一二月、一二月	(一綴 九通)
3 下条村庄屋甚右衛門当巳小物成大豆代并諸掛り割賦目録 岩手村啓助宛 弘化二年一二月	一通
4 芋嶋村庄屋作兵衛与右衛門当午年貢米上納目録 岩手村啓助宛 弘化三年一二月	一通
5 上輪田新田村庄屋平之助当巳諸上納算用目録 岩手村友右衛門宛 弘化二年一二月	一通
6 (当卯之支配目録) 芋嶋村孫左衛門 岩手村佐藤宛 天保一四年一二月	一冊 横長半
7 (支配目録下書) 天保一四年	一冊 横長半
8 苔屋代金勘定書〔真わたほか〕 佐藤宛 卯(天保一四年) 閏九月二〇日	一通
9 苔屋弥市右衛門米代金勘定書 佐藤慶助宛 卯(天保一四年) 閏九月二〇日	一通
10 上輪新田村庄屋平之助当卯諸上納割賦目録 岩手村友左(右) 衛門宛 天保一四年一二月	一通
11 三金勘兵衛書狀〔別紙目録御覧に入れる旨〕 高原宛	一通
12 小川屋久四郎代金請取書〔千いわし〕 上宛 二月二五日	一通

- 13 芋嶋村庄屋与右衛門作兵衛当卯御年貢米  
上納目録 岩手村啓助宛 天保一四年一  
月 一通
- 14 友七口上書〔郷藏納米につき〕 庄屋啓助  
宛 八月五日 一通
- 15 高畑安次郎書狀扣〔午十二月竹直久右衛門  
手帳寛書高畑安次郎方へ遣候節久右衛門方へ安  
次郎方より返書扣〕 一通
- \* 16 川田村外諸村持高年貢諸懸り算用目録等  
綴 天保九年 (一綴  
二五)
- \* 17 馬正面村庄屋美右衛門六郎右衛門当午小  
物成大豆代并諸懸り永割賦目録 岩手村  
八平宛 文政五年一二月 一通
- \* 18 〔35赤沢村外諸村持高年貢諸懸り算用目  
録并品代勘定書等 享保二〇年ほか  
一括 一八通
- 36 六右衛門書狀・三二右衛門書狀等綴 八  
平宛 継一通
- 37 定四郎覚書〔米芾右余御請取下さるべく〕  
星野林右左衛門宛 一通
- 38 柿崎義助代金勘定書〔死道具〕 佐藤松五  
郎宛 酉六月二七日 一通
- 39 御布施料等書上 一通
- 40 利子金勘定書 (明治) 一通
- 41 支払差金差引覚 一通
- 42 錢渡方覚 一通
- 43 啓助書狀 熊木定左衛門宛 一一月三〇日 一通

- \* 44・45 上和新田村去年諸万雜割賦目録  
岩手村懸持八平様分支配人九左衛門宛 文政  
五年一二月 附共  
附 馬足米覚 二通
- 46 出米積預り一札下書 一通
- 47 芝井儀兵衛書狀 湯本太喜右衛門宛 一〇  
月一一日 一通
- 48 落合村六二右衛門書狀〔目録差し上げの旨〕  
喜太郎宛 一二月二七日 一通
- \* 49 下条村安右衛門小懸り金請取証文 佐藤  
八平宛 延享二年閏一二月二〇日 一通
- 50 某書狀断簡 一通
- 51 〔支配人林右衛門等小作下目録〕 (辛  
嶋村) 林右衛門 岩手村高原旦那宛 未一二  
月 横長半 一冊
- \* 52 川田村市左衛門米積預り覚 岩手村佐藤  
宛 天保六年一二月 一通
- 53 釘屋伊兵衛覚書〔五寸釘等御受取り下さる  
べき旨〕 下条村大工宛 七月一一日 一通
- 54 枉屋仁兵衛書狀〔松橋村一件ほか〕 岩手  
村佐藤松五郎宛 八月二八日 一通
- \* 55 鷹海村庄屋金左衛門当年小物成大豆代  
并諸懸り割賦目録 岩手村八平宛 文政五  
年一二月 一通
- 56 佐藤喜太郎書狀・同六四郎書狀〔書物・  
衣類等注文の件につき〕 佐藤六四郎宛、同  
喜太郎宛 四月二四日、六月一五日 継一通  
(二通)

* 57 辛嶋村林右衛門内蔵米積預り証文 岩手村友右衛門宛 天保二年二月	一通	五九七
58 楡井美右衛門書状 佐藤八平宛 三月三日	一通	五五
59 佐藤半治郎書状 八平宛 一〇月九日	一通	一九点 五三六
60 もくろく下書〔のし、帯地代〕	一通	
61 馬正面定八蔵米受取覚 岩手村友右衛門宛 戌一〇月二六日、一二月五日	二通 (貼合)	
62 丁銀兩替・御扶持米値段書付	一通	
63 岩野村箆嶋屋甚三郎蔵米請取覚 岩手村友左衛門宛 戌一二月	一通	
64 受取金差引覚 次右衛門 佐藤宛	一通	
65 割返金差引覚	一通	
嘉永		
嘉永二年三年諸村持高年貢諸懸り算用目録等 嘉永二年、三年ほか	一括 二点 五八九	
1 上池田新田外諸村持高年貢諸懸り算用目録等綴 岩手村啓助宛 嘉永二年、三年	一綴 (一二通)	
2 水野村庄屋仁郎右衛門当戌米金目録 岩手村啓助宛 (嘉永三年) 一二月	一通	
品代勘定書・水元山雜用割賦書等 岩手村庄屋啓助宛 嘉永三年ほか	一括 六通 五五五	
〔注〕「当戌年諸上納并郡役小掛り割賦目録」(三二九三)と一括されていたもの。		

品代勘定書・請取書并蔵納米勘定書等綴 子年 (嘉永五年)	一綴 (二一通)	五九七
水元山入用割・越後国川々御普請国役金割賦書并品代勘定書等綴 岩手村宛 嘉永六年	一綴 (七通)	五五
品代勘定書・請取書等 嘉永・安政	一括 一九点 五三六	
〔注〕安政のものを含む。2は1の挿入文書。5は8は一括されていたもの。10は9の挿入文書。11は14は一括されていたもの。15は19は一括されていたもの。		
1 品代勘定書・受取書綴 天屋ほか 佐藤宛 安政四年一〇月一二月	一綴 (二一通)	
2 勘兵衛品代受取書 高原宛 午正月一日	一通	
3 品代勘定書・受取書綴 かしや長三郎ほか 佐藤宛 卯年(安政二年カ)	一綴 (二七通)	
4 品代勘定書等綴 上小野村紺屋五右衛門ほか 佐藤宛 寅一〇月、一二月	一綴 (五通)	
5 品代勘定書綴 今町筈屋ほか 佐藤宛 辰年	一綴 (九通)	
6 長沢屋六左衛門代金勘定書〔やうかんほか〕岩手村佐藤啓助宛 辰一〇月	一通	
7 米山寺村勇治郎代金勘定書〔作料ほか〕岩手村佐藤宛 辰極月	一通	
8 人足代金覚	一通	
9 品代勘定書・受取書等綴 米山寺村勇治郎ほか 佐藤宛 安政五年	一綴 (二三通)	
10 米山寺納所用状〔銭両替並びに紫鑄代受納の件〕 佐藤宛 極月一〇日	一通	

11 柿崎村他屋四右衛門書狀〔新餅米三俵入用につき附出願〕 高原村旦那宛 四月一四日	一通
12 笹屋品代勘定書〔白砂糖代ほか〕 佐藤宛 辰二月二八日	一通
13 某書狀 二月九日	一通
*14 (短歌行)	一枚
15 籠嶋伝右衛門米請取覚 岩手村勇吉宛 嘉永五年一月一六日	一通
16 柿崎おたや四右衛門米代金勘定書覚 岩手村高原宛 嘉永七年二月二三日	一通
17 潟町三平品代勘定書〔塩ふり、かづのこ代〕	一通
18 勘兵衛代金受取覚〔棒たら〕 佐藤宛 已正月朔月	一通
19 頼母子懸金差上覚 高原 与右衛門宛 一月二二日	一通
安 政	
安政三年諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 安政三年一月、二月	一綴 五三二 (一四通)
猿毛村庄屋惣右衛門当辰諸上納金割賦目録 岩手村啓助宛 安政三年一月	附共 二通 五四〇
安政四年より六年諸村持高年貢諸懸り算用目録 安政四、六年	一括 五点 五四〇
〔注〕5は包紙に使ったと思われるもの。	
1 安政六年諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 安政六年	一綴 (一七通)

元 治

馬正面村組頭九郎右衛門外当子諸上納并郡中組内村入用等算用目録 岩手村友右衛門宛 元治元年十一月 一通 五四九

米山寺村庄屋瀬左衛門当子諸上納小掛り永割賦目録 岩手村啓助宛 元治元年十一月 一通 五六七

馬正面村組頭九郎右衛門外夫人給分余荷割賦寛岩手村友右衛門宛 元治元年十一月 一通 五七三

品代勘定書・水元山入用割賦書等 (元治元年) 一括 二点 五四五

〔注〕「当子年諸上納并郡役組内小掛り割賦目録」一括されてゐたもの。 (三二九六)と

1 品代勘定書・水元山入用割賦書等綴 岩手村宛 子 (元治元年) 一通 (五綴)

2 郷蔵入用割書上「駄賃割、夏諸色、津出増割等」 一通

慶 応

鴈海村庄屋藤左衛門当丑諸上納算用目録 岩手村啓助宛 慶応元年十一月 一通 五六四

芸州海田市操出夫人給等割賦書并当寅諸上納臨時余荷金請取書 馬正面村与頭興次右衛門ほか 岩手村友右衛門宛 慶応二年三月、二月 一括 四通 五九三

芋嶋村小山興右衛門卯年米納目録 岩手村佐藤啓助宛 慶応三年二月 一通 五六三

明 治

鴈海村組頭九郎平当午郡役諸上納割賦目録 岩手村佐藤文吉宛 明治三年二月 一通 五五六

新潟県令楠本正隆達書等写「石代納殘金納入の件ほか」用挂新部与八郎 高畑村岩手村惣代中宛 明治七年二月五日ほか 一通 九三五

○郡中人馬負担輕減願

\*郡中村々願書下書「助郷人馬賃錢・宿々繰出人足賃錢等郡中割懸け迷惑につき願下げ」上宛 明治二年八月 横長美 一冊 九七九

\*願書下書「高田・川浦・糸魚川三管内の人馬負担等を平均にされたい旨」明治二年九月 美 (二枚) 九七九

願書写「頸城郡三御管内共夫人助郷其外同一処置願」(明治二年) 一冊 九五二

\*願書下書「去辰年会津征討諸官軍御通行人馬繼立百姓一同難渋につき願書」明治二年九月 一通 九七九

年不詳分

○村方諸入用・佐藤家貢租

猿毛村兼帯庄屋茂右衛門辰年年貢米諸懸り割賦目録 岩手村喜多郎宛 辰二月 一通 五六八

芋嶋村庄屋横田健蔵去巳御上納諸懸り永算用目録 岩手村佐藤啓八宛 午正月 一通 五七五

御年貢米小物成諸懸り永勘定覚 平治郎後家佐藤宛 三月 一通 五七四

米山寺村小池清三郎書状「当三分一取立不足金遣され下さるべき旨」岩手村佐藤八平宛 二月二十九日 一通 五八二

米山寺村与頭庄右衛門金子請取覚 岩手村与頭友七宛 二月二〇日 一通 五三五

川田村庄屋金佐衛門午小物成小懸り諸雜用割賦  
目録 岩手村松五郎宛 午一二月

一通 五三七

下小野村庄屋助右衛門六右衛門当卯三分一小物成  
并郡中組内村入用割賦目録 岩手喜太郎宛 卯一  
二月

一通 五四三

諸品代金勘定書請取書綴

一綴 (二六通) 五四四

入立米米納支配役料等差引覚

一通 五四九

米納算用目録

後欠 一通 五五一

\*下小野村庄屋六右衛門助右衛門辰年貢米諸懸り  
算用目録 岩手村喜太郎宛 辰一二月

一通 五五六・三〇

\*下小野村庄屋助右衛門当辰之御過納永差引覚  
岩手村喜太郎宛

一通 五五六・三

米山寺村・下小野村当亥年貢米金諸懸り算用目  
録并品代勘定書等綴 岩手村松五郎宛 亥年

一綴 (二二通) 五八七

品代金勘定書等

一括 七通 五三〇・六

。今町笹屋徳兵衛代金勘定書〔鯉節〕 九月二七  
日

一通 五三〇・六

。籠嶋書狀 佐藤宛 二月一八日

一通 五三〇・七

。籠嶋書狀 佐藤宛 十月二三日

一通 五三〇・八

。芋嶋村要多左衛門代金勘定書〔正油代〕 岩  
手村役人宛 一二月

一通 五三〇・九

。品代覚 米山寺村久左衛門 佐藤啓助宛 寅  
極月

一通 五三〇・〇

。芋嶋村酒屋与次右衛門代金勘定書 岩手村佐  
藤宛 寅六月二〇日

一通 五三一

。高畑下宿雜用金等覚 高畑与五右衛門 岩手村  
御役前所宛 寅一二月二八日

一通 五三二

納金差引覚等

一括 五通 五三四・五六八

。納金差引覚 芋嶋彦右衛門 岩手村佐藤宛 戌  
一二月八日

一通 五三四

。差紙写カ

一通 五三五

。木下書狀〔角力御見物に御越遊ばされ候や〕高原  
公宛 六月一日

一通 五三六

。御年貢諸懸り差引覚

一通 五三七

。上直海村田中専右衛門書狀 岩手佐藤宛

一通 五三八

品代勘定書等

一括 三一点 五三九

1 米山寺村茂八酒代勘定覚 岩手村喜太郎  
宛 戌一二月二三日

一通

2 片桐屋品代勘定覚 岩手佐藤喜太郎宛 戌  
一二月

一通

3 水野村薩美喜惣次書狀 岩手村佐藤喜太  
郎宛

一通

4 さかなや嘉兵衛代金勘定書 岩手村佐藤  
宛 三月

一通

5 下条橋立会太左衛門庄兵衛書狀 岩手村  
佐藤喜太郎宛

後欠

一通

6 下灰庭村庄屋又三郎覚書〔小懸り割落分  
の届書〕 御割合庄屋衆中宛 閏正月六日

一通

7 半左衛門書狀 喜太郎宛 一月六日	一通	23 中山平次郎口上書〔点蠟不足故、玉老つ遣し申候旨〕 岩手佐藤喜太郎宛 一月晦日	一通
8 (馬正面村) 新部孫兵衛代金差引勘定寛〔揚油、塩ほか〕 佐藤喜太郎宛 戊二月	一通	24 要右衛門寛書〔錢代御かし下されたき旨〕 岩手村喜太郎宛 二月一九日	一通
9 下小野市右衛門品代勘定書 高原佐藤宛 戊二月	一通	25 高田いこく屋順藏品代勘定書 景山宛 戊七月	一通
10 金差引寛	一通	26 岩野村要右衛門品代勘定書 岩手村喜太郎宛 戊二月	一通
11 星野孫右衛門去卯預り金利永勘定書 佐藤松五郎宛 辰三月一日	一通	27 柿崎金藏品代勘定書〔さかな代ほか〕 岩手村佐藤宛 戊二月	一通
12 彦八品代勘定書〔てん代ほか〕	一通	28 夫食願入用・御損地割落共差引寛	一通
13 寅春と半数入講〔講懸金元利勘定カ〕	一通	29 本新田反別寛	一通
14 百木村三郎左衛門金子受取寛〔水立林出入雑用金〕 岩手村喜太郎宛 未極月七日	一通	30 下灰庭村寅ノ納卯駄賃払寛	一通
15・16 橋御入用金・御国役金等指引寛	二通	31 佐次右衛門頼母子金寛	一通
17 卯手形寛〔米俵勘定〕 八郎兵衛 松五郎宛 卯二月一六日	一通	品代勘定書・年貢米勘定書・書状等綴	一綴 五三三
18 米山寺村利右衛門品代受取書 佐藤喜太郎宛 戊二月一八日	一通	下灰庭村庄屋太喜平子大豆小物成割賦書 岩手村友右衛門宛 丑四月四日	一通 五四一
19 芋嶋村孫兵衛品代勘定書 岩手村佐藤宛	一通	小遣金書上〔かご代・茶代ほか〕	二通 五三六
20 下小野村某口上書〔高帳改につき御印形御持参なさるべき旨〕 岩手佐藤甚左衛門宛 三月七日	一通	品代勘定書綴 佐藤宛 戊年	一綴 五三二
21 喜八品代受取書〔糸入嶋帯ほか〕 佐藤宛 丑七月一〇日	一通	岩手村借用金寛	一通 五四六
22 米山寺村利右衛門品代勘定書〔坪糸、釘相物、すぎ油ほか〕 岩手村佐藤喜太郎宛 戊二月	一通	大堰普請人足酒代縄代寛 岩手村庄屋中宛 戊一月六日	一通 五四四
		荷駄賃書上	二通 五四二



下宿猪之助品代勘定書〔鞋老足〕 岩手村庄屋宛  
戊一〇月 一通 五四四

阿弥陀頼村与次兵衛当末小物成銀諸出永割賦目録  
岩手村八平宛 未一二月 一通 五四五

下灰庭村外上納目録并岩手村権九郎江戸表夜盜一件書状等  
包紙入 一〇点 五四五

〔注〕 2、5は一括されていたもの

\*1 当四年小懸金請取書 佐藤八平 下金原村庄屋市郎左衛門宛 宝曆三年一二月 一通

2 下灰庭新田庄屋太喜平当午小懸割賦書  
岩手友右衛門宛 午一二月 一通

3 下灰庭太喜平米方上納算用目録 岩手友右衛門宛 午一二月 一通

4 中山村右衛門当出銀勘定覚 岩手村平六宛 一二月一一日 一通

6 原田嘉兵衛書状〔八平岩手村へ引越その他の件につき〕 佐藤八平宛 六月一三日 附共 二通

\*5、7、10 岩手村権九郎江戸表にて夜盜一件書状  
↓「村政」のうち「治安」(三三頁)をみよ。 五通

○皆済請合証文

御皆済請合一札 後欠 二通 五五三

○小懸割賦目録・請取目録

已年諸万雜御役銀割賦目録〔岩手分〕 組頭代平次郎 一通 五八六

御祝儀割賦覚 立会庄屋 岩手村庄屋中宛 戊一〇月 一通 五四五

当丑小懸り金請取目録 大肝煎代役吉右衛門 岩手村庄屋松五郎宛 丑一二月 一通 五六一

○先納金

先納金割符差引帳等〔袋表書「亥小掛下帳入」〕 袋入 三点 五七五

1 (先納金割符差引帳) 横長美 一冊

\*2 田方反別居屋鋪并山畑相改写帳 鷹海村喜兵衛 岩手村喜太郎宛 天明五年三月 横長美 一冊

\*3 軍書覚 天明四年 横半々 一冊

○上納役銀

\*金納御役銀勘定覚 一 通 五三八・三

戊年秋頼母子懸金諸上納金改覚 一〇月二二日 改 一 通 五三八

上納金等差引覚 一 通 五三八

○藏納

藏納米差引覚 一 通 五八五

藏納小手形綴 岩手村宛 戊一〇月、一二月 (一綴) 一 通 五七七

藏米請取覚・蠟請取覚 辰、巳 一六通 五三五

(納米差引覚帳下書) 横長美 一冊 五三六

友七藏岩手村方御米請取通 下条村御藏番 辰 一 通 五四〇

井和野(岩野村)伝右衛門用状〔蔵過納米の件  
その他〕 岩手庄屋所宛 丑一〇月二二日、一二  
月二三日

二通 五四五

卯米山寺外村へ切出米覚下書 米山寺村庄屋中  
宛 卯二月一日

一通 五七六

上小野村甚助下条御蔵米預り覚 岩手村庄屋中  
宛 未二月

一通 五九三

(郷蔵場詰帳断簡カ)

蔵納米小手形綴 岩手村宛 未年

一枚 五九五  
(二〇通) 五九六

三上儀右衛門書状等綴〔下小野村藤右衛門切入米  
の一件〕

一綴 五九八  
(五通)

過不足米之覚

一通 五四六

(蔵納小手形帳)

附 蔵納小手形

横長美

一綴 五四三

(蔵入米差引下勘定帳)

丑年

飯三冊 五四七

手形廻し米覚并書状等綴

一綴 九八四  
(七通)

普 請

御普請所

岩手村普請所書上下書

半 飯二冊 九八〇

官普請所書上帳表紙〔下案カ〕 明治五年五月

一枚 九八八

日丸旗〔御普請所旗〕

袋入 63x23cm 一枚 九五八

普請人足用具

普請人足用具附留覚等 岩手村 明治一二年

袋入 一二通 六八二

1 15 普請人足用具附留覚

一五通

16 三上書状〔別紙之通り柿崎へ別仕立到来御  
取次〕 佐藤宛 九月六日

一通

17 某書状〔柿崎駅久助方に立寄、一件之儀聞  
合せ〕

一通

18 米山寺堀井口上〔豫て願上候瓶子屋件につ  
き〕 岩手村佐藤宛 九月五日

一通

\* 19 米山寺村岩手村岩野村戸長役場用状〔證  
印税仕訳書相添掛紙差出すべき旨〕 佐藤興  
吉宛

一通

\* 20 高島清兵衛用状下書カ〔證印税仕訳一件に  
つき〕 佐藤興吉宛 一〇月二日

一通

\* 21 御届〔岩手村八幡宮祠掌拜命届〕 権訓導五  
十嵐寿司 戸長新部興八郎宛 明治一二年七  
月一五日

一通

\* 22 宮谷縣管下常州河内郡八代村当未御年貢  
米納手形 米主山崎五兵衛ほか

一通

\* 普請人足用具覚小札

片木 (包紙入) 六三枚 六八二

川除・用水堰普請

岩手堰・下条堰等普請人足棟用木割賦帳下書等

一冊 五五八

〔注〕 2と3は1の挿入文書。

1 (岩手堰・下条堰等普請人足棟用木割賦  
帳下書)

横長半 一冊

\*2 当丑之年入上米覚 あみたせ村三郎右衛門  
佐藤友右衛門宛 享保一八年十一月

一通

\*3 金納御役銀勘定覚

一通

岩手村・芋嶋村川除用水江凌修繕一村割・組合  
割書上下書

絵図一枚  
とも七枚 九八四

用挂新部興八郎用状〔普請書上差出督促〕 岩手  
村惣代中宛 三月七日

一通 九七七

### 橋普請

岩手村与頭太左衛門外二名願書下書〔岩手村高畑  
村立会橋橋木代金拝領願〕 郡奉行所宛 寛延二  
年六月

一通 五七三

\*岩手組大肝煎佐藤八平願書下書〔岩手村高畑村  
立会橋普請杉木代の拝借願〕 御手代中宛 宝暦  
二年一〇月

一通 五三〇

\*岩手村高畑村立会橋懸替手当金拝領願書

一括 三通 五三三

\*1 岩手村与頭太左衛門仁兵衛願書控〔岩手  
村高畑村立会橋懸替手当金拝領願〕 岩手組  
大肝煎佐藤八平加判 郡御奉行所宛 宝暦二  
年六月

二通

2 大肝煎佐藤八平願書下書〔御手当金再願〕  
御奉行所宛 宝暦二年一〇月

一通

高畑岩手立会橋諸色帳入 寛政二年九月

袋入 二一点 五八七

〔注〕 明和等、他年のものを含む。8と9は一括されていたもの。

1 橋方入用附留覚帳 岩手村高畑村立会橋  
寛政二年八月四日

横長半 一冊

2 (調物目録)〔麻上下、扇子ほか〕

横長半 一冊

3 菊屋原兵衛品代勘定書〔引手代ほか〕 佐  
藤喜太郎宛 未一一月二日

一通

4 高田山岸屋惣右衛門金銭受取書 浦野宛  
未一一月五日

一通

5 山岸代金勘定書〔仕立賃ほか〕 浦野宛  
一一月五日

一通

6 呉服屋清兵衛品代勘定書 佐藤喜太郎宛  
未一一月

一通

7 嘉兵衛品代受取書〔經節代ほか〕 景山宛  
未一一月二日

一通

8 借用品々并牛木〆買物覚 景山 一一月三  
日

一通

9 諸品代払方覚

一通

10 山岸惣右衛門品代勘定書〔縮面ほか〕  
浦野宛 未一一月四日

一通

11 山形屋平太郎品代勘定書〔ぜんまい代ほ  
か〕 佐藤喜太郎宛 一〇月晦日

一通

12 橋木覚 岩手村茂郎左衛門 高畑村宛 子  
一一月八日

一通

13 仕立物覚

一通

14 米錢惣入用覚 岩手村庄屋中宛

一通

15 岩手高畑両村立会橋普請拝借金等覚〔寛  
政三年三月および寛政二年分〕

一通

16 木代勘定書立覚

一通

17 山岸品代勘定書〔縮面ほか〕 浦野宛 一  
一月五日

一通

18 渡部弥左衛門書狀 柴山与惣兵衛・久代兵  
左衛門宛 (明和四年) 閏九月一六日

一通

19 八平書狀 岩手・高畑岡村宛 (明和四年)  
閏九月八日

一通

20 八平書狀 惣左衛門宛 (明和四年) 閏九  
月二八日

一通

21 高宿書狀 駅司宛 (明和四年) 閏九月二  
九日

一通

橋積り方

附 橋図面二枚

半  
一枚 九五二

他村

(高畑村川除用水普請書上下書) 第七大区小八  
区二番組高畑村

美  
飯一冊 九八〇

戸口

戸籍・出生死亡人調

(戸籍雛形)

一枚 九九九

第七大区小八区二番組人員出生届控 岩手村佐  
藤文吉 明治八年一月三日

美  
飯一冊 九四三

二番組岩手村明治七年埋葬人員取調控 岩手村  
明治八年五月二二日

一通 九三八

黒川村名簿 (戸主名簿九)

半  
一冊 九二五

人別送・送籍・寄留

高畑組平沢村庄屋佐次右衛門人別送り一札 (平  
沢村幸次郎娘しの) 岩手村役人衆中 元治二年  
二月

一通 五九六

寄留証写 (第七大区小八区越後国頸城郡下灰庭新田  
小林休八) 戸長三上喜三 栃木県管下第一一大  
区五小区上野国邑楽郡館林町戸長御中宛 明治七  
年一〇月三〇日

一通 九〇六

送籍証写 (新潟県第七大区小七区黒岩村伊藤密三郎  
妹れい) 戸長藤野俊平 (同大区小八区岩手村)  
戸長宛 明治八年四月一二日

一通 九三四

送籍証写 (新潟県第七大区小八区岩手村鈴木源太郎  
弟鈴木栄作) 戸長三上喜三 (栃木県第一三大区  
五小区上野国山田郡新宿村) 正副戸長宛 明治八  
年五月一五日

一通 九三六

送籍証写 (熊谷県第六大区九小区上野国那波郡玉村  
駅加賀美庄蔵附籍加賀美喜美) 戸長桜澤文七  
新潟県第七大区小八区区长三上喜三宛 明治九年  
二月一二日

一通 九四五

入籍証書 (新潟県第七大区小二区湯町新田百五十番  
地小山源造妹はな) 第七大区小八区长代理籠島  
省吾 田中謙五郎宛 明治九年二月二二日

一通 九三五

送籍証写 (新潟県第七大区小二区湯町小山源蔵妹は  
な) 田中謙五郎 (第七大区小八区岩手村) 小  
区长宛 明治九年二月

一通 九三七

熊谷県管下上野国那波郡樋越村佐藤福太郎願書  
写 (佐藤福次郎寄留証差し替え願) 新潟県管下岩  
手村戸籍掛宛 明治九年二月

一通 九三九

寄留証写 (新潟県第七大区小八区岩手村佐藤忠太郎  
三男佐藤福次郎・同人妻喜美) 小区长三上喜三  
代理籠島省吾 (熊谷県第七大区三小区上野国那  
波郡樋越村) 正副戸長宛 明治九年三月六日

一通 九四四

送籍証写〔新潟県第七大区小八区岩手村服部吉五郎  
二男服部乙吉〕 小區長三上喜三代理龍島省吾  
(熊谷県南第八大区小八区武蔵国榛澤郡打之口村)  
正副戸長宛 明治九年三月六日 一通 九四六

送籍証写〔新潟県第七大区小七区六番組上直海村太  
田繁松妹かと〕 小區長藤野俊平 (同県同大区  
小八区岩手村) 小區長宛 明治九年四月四日 一通 九三七

送籍証写〔新潟県第七大区小八区四番組松留村山岸  
庄藏弟山岸兼治郎〕四番組戸長朝比奈茂平治 (同  
大区同小區二番組岩手村) 二番組戸長宛 明治九  
年六月二二日 一通 九三八

送籍証写〔岩手村鈴木兼吉〕 戸長新部与八郎 新  
潟県管轄第五大区小六区同国刈羽郡柏崎下町戸長  
宛 明治一〇年六月一三日 一通 九三三

送籍証写〔新潟県第七大区小七区二番組岩手村大場  
万藏長女えい〕 右区式番組戸長新部与八郎 (同  
県同大区小四区八番組下条村) 戸長宛 明治一  
一年二月一八日 一通 九四二

送籍証写〔新潟県旧第七大区小七区岩手村大場兼治  
郎長男大場三代吉〕戸長新部与八郎 (同県旧第一  
〇大区小八区長岡村) 戸長宛 明治一二年八月七  
日 一通 九三二

送籍証写〔新潟県中頸城郡岩手村亡佐藤泰助妹佐藤  
ため〕 旧七大区小七区式番組戸長新部與八郎  
(同国同郡直江津裏砂山町) 戸長宛 明治一二年  
八月八日 一通 九三〇

送籍証写〔新潟県中頸城郡岩手村服部吉五郎長女して〕  
旧七大区小七区式番組戸長新部与八郎 (同県同  
郡阿弥陀瀬村) 戸長宛 明治一二年八月一六日 一通 九三三

受籍証写〔新潟県第七大区小八区岩手村大場万藏  
兄大場番吉、そふ真助〕 熊谷県南第九大区四小  
区児玉郡本荘駅戸長諸井治郎 岩手村正副戸長宛 一通 九二六

送籍証写〔新潟県中頸城郡直江津新町谷沢徳五郎二  
男谷沢与吉〕 直江津町戸長元浪藤四郎 (同県  
同郡岩手村) 戸長役場宛 一通 九三三

送籍証写〔新潟県第七大区小五区荒戸河沢村江村豊  
太郎二女けい〕 右区五番組水谷長兵衛 (同大区  
小七区岩手村) 正副区戸長宛 一通 九四一

寄留証写〔新潟県第七大区小八区岩手村佐藤忠太二  
男佐藤福次郎〕 区長三上喜三 (熊谷県北第六  
大区小九区上野国那波郡玉村宿) 正副戸長宛 一通 九四七

他国出稼

岩手村太田義三郎受書〔太田義三郎弟太田留吉、  
五尺以上につき他国出稼等致させまじき旨〕 小  
区長宛 明治八年一〇月八日 一通 九三二

村 政

救 恤

\*大肝煎所用状〔里方桜町新田は山方夫喰相加え、  
七ヶ村今度願書に御除きなさるべき旨〕 里方庄  
屋中宛 二六日 一通 五三〇・二

\*大肝煎所用状〔夫喰願之儀、里方相除御願御取組  
み候様〕 山方庄屋中〔松五郎ほか二名〕宛 二  
月二六日 一通 五三〇・一五

梶村外拾式ヶ村戸長惣代願書并新潟県大書記官  
南部信近回答書写〔天災困窮救助方につき〕 明  
治一〇年九月一三日、一四日 (一枚) 九三〇

治 安

\*岩手村権九郎江戸表にて夜盗一件書状 五通 五四五

〔注〕「下灰庭村外上納目録并岩手村権九郎江戸表夜盗一件書狀等」  
（五四七五）に一括されていたもの。（→二九頁をみよ。）

。浦野織之進書狀（江戸美濃屋五郎兵衛、権九郎  
一件につき身上潰し候由につき） 佐藤八平・  
松五郎宛 一一月一日 一通 五四七五

。美濃屋五郎兵衛書狀（岩手村組頭子息権九郎、  
夜盗の科で召捕の件につき） 岩手村御庄屋八  
平宛 一一月二八日 一通 五四七五

。美濃屋五郎兵衛書狀 浦野屋織之進宛 一一月  
二七日 一通 五四七五

。佐藤権兵衛書狀（岩手権九郎儀、江戸表にて夜  
盗の件） 浦野織之進宛 一二月八日 一通 五四七五

。みのや五郎兵衛書狀写（権九郎一件） 浦野氏  
宛 一二月朔日 一通 五四七五

衛生

類似虎列刺御届下書并写 岩手村戸長代理佐藤文  
吉 高田警察署宛 二通 九三六

御尋ニ付手続書（一男彦古儀虎列刺類似症ニ羅り前  
始末） 中頸城郡岩手村佐藤與八・りふ 御出張  
三等巡查山内與喜八宛 下書共 三通 九三九

寺社

越後国頸城郡寺院血判書写（御公儀輕存間數旨そ  
のほか） 池坊主税・横田監物宛、下間治部介は  
か宛 宝永八年三月二九日、宝曆一年六月一三  
日 一通 五三三

\*家康公・綱吉公御判定書写（神社提書） 天和元  
年、天和二年 一通 九〇九・二

○寺社書上

岩手村社寺除地等書上控 旧神職五十嵐大倭、氏  
子惣代佐藤文吉ほか 明治七年五月 前欠 一通 九三三

岩手村社寺除地等書上下書 一通 九三四

（岩手村社寺除地書上断簡） 三丁 九八七

○八幡宮

祠掌龍嶋憲章申達写并二番組用掛添狀（太麻旗  
布并神稅取立書上帳につき） 高畑村・岩手村惣  
代 明治七年四月八日 半 一通 九五四

教導職試補申付方ニ付神道事務局達書并教導職  
試補保証書控ほか 明治九年九月三〇日（一）一月  
四日 四通 九三三

岩手村教導職試補五十嵐大倭届書（教導職試補  
拜命届） 明治一二年一月五日 一通 九八五

\*御届（岩手村八幡宮祠掌拜命届） 權訓導五十嵐寿  
司 戸長新部與八郎宛 明治一二年七月一五日 一通 九〇八・二

○正眼寺

岩手村正眼寺境内反別備絵図面下書 一二番組  
岩手村正眼寺、庄屋佐藤文吉ほか 高田藩民政御  
役所宛 明治四年七月 一枚 九〇〇

岩手村正眼寺明細届書下書 戸長佐藤文吉ほか  
明治五年九月 一通 九八三

中頸城郡役所申入書写（寺院所持地と僧侶所持地  
區別取調書差し出すべき旨） 米山寺村戸長高嶋  
清十郎宛 明治一三年二月六日 一通 九〇五

岩手村寺院持地書上下書 正眼寺且中惣代佐藤文吉、戸長高嶋清十郎 新潟県令氷山盛輝宛 明治一三年一月二十五日

一通 九〇四

通減録回金受領書 正眼寺且中惣代佐藤文吉 中 頸城郡長渡辺健蔵宛 明治一四年四月二七日

一通 九〇三

\*正眼寺関係書付類等〔正眼寺米受領書、品代勘定書 明治二十年正眼寺屋根替帳并人夫書上など〕 明治一五年、二七年

四冊 九八七・八六五・二通 五二通

岩手村重立惣代願書下書〔正眼寺除地払下げ願〕

後欠

二通 九一九

正眼寺領反別収入書上下書

一通 九九七

正眼寺除地書上下書ほか

七通 九三七

正眼寺除地払下ヶ願書下書

後欠

一通 九三〇

○三王社

三王社除地書上下書 改正用掛佐藤文吉 明治八年一月

一通 九三四

諸稼・営業

友右衛門口書并馬之助辰五郎口書〔填附出しの件云々〕 二月一日、一二日

一通 五四九

第六大区八小区頸城郡某村何某願書案〔染物代取替帳残員附込見積金証印願〕 新潟県令楠本正隆宛 明治六年八月

一通 九三三

中頸城郡岩手村大場兼次郎届書写〔小売商新規開業届〕 中頸城郡長渡邊健蔵宛 明治一三年二月

一通 九三五

廻状・用状

八小区総代回状〔縣知報知発行につき新潟県令楠本正隆通達書の伝達〕 岩野村・高畑村・岩手村戸長副中宛 明治六年七月一八日

一通 九三三

下条村庄屋太次右衛門書状〔御藏所様御越しの旨お知らせ〕 佐藤八平宛 一一月二八日

一通 五八三

北方藤五郎用状〔下書カ〕〔高田西村町之者共へ手当方入用につき風呂桶、蒲団等送られたき旨〕 岩手村佐藤宛

一通 五三四

仁平豊兵衛書状并高田川浦役所へ御訴書下書〔佐五右衛門書兵衛兩人果し合ひにつき〕 星野佐五右衛門宛 辰七月二三日

繼一通 五三五

中山村庄屋茂左衛門廻状〔御上納穂蠟相納むべき旨〕 芋嶋村・下灰庭村・岩手村庄屋中宛 一〇月二七日

包紙入

一通 五四〇

楡井美右衛門書状〔享保一七年松平九郎左衛門預地郷藏舊粉御改の件につき御尋ねの旨〕 佐藤八平宛 一〇月一九日

包紙入

附共 二通 五六一

附 別紙御答書写

坂口助右衛門・平田喜三郎人足遣状 岩手村宛 丑四月一三日

一通 五三八

上下浜村庄屋先触受取状 岩手村宛 一一月二三日

一通 五四三

\*米山寺岩手村岩野村戸長役場用状〔證印税仕訳書相添掛紙差出すべき旨〕 佐藤與吉宛

一通 九〇二・九

\*高島清兵衛用状下書カ〔證印税仕訳書一件につき〕 佐藤與吉宛 一〇月二日

一通 九〇二・二〇

大区八小区・町村編制

高畑村岩手村両村組合願下書 明治六年八月七日

一通 九三三

明治九年十一月四日小区会議事 明治九年十一月四日 二枚 九〇七

下灰庭持込七ヶ組聯合會議案 美 仮一冊 九七五

選挙

中頸城郡役所申入書写〔県會議員選挙人名簿編制の件〕 明治二年五月二十四日 美 仮一冊 九八二

縣會議員改撰本分場〔村別選挙人人数一覽〕 半 一冊 九五三

県會議員選挙方ニ付急回章 受持副大区長 二番組戸長宛 一通 九〇九

他村

水野村無住安楽寺村中請合証文控 黒岩組水野村組頭・庄屋・代役 御代官所宛 文化一一年六月 一通 五二六

\*上小野組鷹海村百姓代倅久作外六名差上一札〔百姓与平外一人より同村久作外一人へ掛り箱訴一件ケ条の内、御利解之段承知〕 民政御役所宛 明治三年二月二十九日 一通 五四七・五九

\*上小野組鷹海村百姓手統書写〔組頭作左衛門御役差替願〕 一二月 横長半 仮一冊 五四七・五九

\*宮谷縣管下常州河内郡八代村当未御年貢米納小手形 米主山崎五兵衛ほか 一通 九〇八・三三

その他

潟町行之事その他村方諸事覚書 一通 九三一

岩手村揭示場木品大工作料飯代共取調書上下書 岩手村佐藤文吉 用掛所宛 一通 九三四

争論・訴訟

○字城山入会地境界争論

――『佐藤家文書目録（その一）』一八七頁をみよ。

岩手村城山境界争論願書下書（明治七年） 一通 九〇二

願書下書〔第七大区小八区二番組高畑村原告人小林与五平ほか一人より当村へ言掛り入会地境界争論一件〕 第七大区（岩手村） 後欠 二通 九八一

高畑原告人小林与五郎外一名返答書写〔字城山道中入会地境界願〕 後欠 二通 九八六（五枚）



佐藤家

経営

所持地

\*岩手村地内増歩願一件書類 明治一七年〜一九年 封筒入 一三点 九五

1 岩手村佐藤文吉外三名願書并郡役所・戸長役場付箋等 明治一七年二月一四日、一月二〇日、一月二六日 仮一冊

2 岩手村佐藤文吉外三名願書并新潟県令永山盛輝指令書・戸長役場付箋 明治一七年一月一四日、明治一八年二月一八日、三月二日 仮一冊

3・4 誤謬反別訂正許可書并写 新潟縣令篠崎五郎代理新潟縣大書記官近藤幸正 岩手村宛 明治一九年二月一六日 二通

5 増歩願済付地券御書換願書控 岩手村佐藤文吉 中頸城郡長渡部健蔵宛 明治一九年五月 一通

6 増歩願済付地券御裏書願下書 一通

7 地價算則覽書 一通

8 11 中頸城郡役所増歩地租上納令書并戸長役場送達書、佐藤文吉宛納入令書 明治一九年六月六日、六月一〇日 封筒入 四通

12・13 新潟県庁より派出検査図書 明治一八年六月九日 附 新潟縣収税属山田友衛名刺 二枚

\*初田堰詰字長瀬自費堤防工事一件文書 明治一七年〜一八年 發入 五二点 九五六  
↓詳しくは「争論・一件」の項をみよ (四四頁)。

\*初田堰普通水利組合へ岩手村地内土地賃貸一件文書 明治一七年〜大正八年 包紙入 五九点 九五五  
↓詳しくは「争論・一件」の項をみよ (四五頁)。

(地割反別入立米覚) ほか 一括 二冊 五三三

○

委任状(下書カ)「不動産所有者惣代の名義を付与し、金穀共有物并土木起功の分に限り権限を委任」第七大区小七区二番組岩手村不動産所有者佐藤忠太ほか (一通 九〇二) (二枚)

債券

戦時貯蓄債券・戦時報国債券、同保管証等 發入 一八四点 九四九

1 109 戦時貯蓄債券・戦時報国債券 日本勸業銀行發行 昭和一八年〜二〇年 一〇九通

110 142 戦時貯蓄債券・戦時報告債券証券券保管証 貯金局長 佐藤宛 昭和一六年八月二八日、昭和一七年八月二九日 三三通

143 172 戦時貯蓄債券・戦時報国債券証券券保管証 佐藤ナル宛、佐藤耕策宛 昭和一九年五月二日 三〇通

173 国債々券割当消化調査六月分 中頸城黒川村長 大字岩手区長・国民貯蓄組合長宛 昭和一七年六月八日 一通

174 179債券枚数金額等計算メモ 六枚  
180 硯箱・花入・香合等品目録 一枚  
181 184封筒 三枚

所得

〔注〕九一三九〇九一五七は一括されていたもの。九一六三〇九一  
六九は一括されていたもの。

明治二十年ヨリ所得金高届ケ (明治二〇年) 袋入 二九点 九三元  
三一年

1 原書状(本年度所得金土地歩合につき) 袋入 一通  
小林勇吉宛 六月四日

2 所得金高届并明治二十一年所得税明細表 二枚  
下書

3 所得地価金届 佐藤文吉 戸長渡辺貞治宛 一通  
明治二二年二月一三日 (二枚)

4 地方税・村税一日割 一通

5 所得金高届之儀御問合ニ付出張令書 中 一通  
頸城郡役所 黒川村大字岩手佐藤文吉宛 明治二五年六月一六日

6 所得金高届督促書 黒川村役場 大字岩手 一通  
佐藤文吉宛 五月一日

7 廿三年度所得税等級及金額通知書 黒川 一通  
村役場 大字岩手佐藤文吉宛 七月二八日

8 戸長役場用状(自家用酒醸造鑑札返納につ 一通  
き) 岩手村惣代中宛 一〇月一一日

9 所得税金額送致書 黒川村役場 佐藤文吉 一通  
宛 八月一八日

10 二十二年度所得税等級金額送付書 黒川 一通  
村役場 大字岩手佐藤文吉宛 明治二二年八 封筒入  
月四日

11 出頭命令書 中頸城郡所得税調査委員会 一通  
黒川村佐藤文吉宛 明治二三年六月一四日 封筒入

12 中頸城郡役所用状(二三年度所得税金高届 附共  
訂正につき) 黒川村岩手佐藤文吉宛 明治 四通  
二三年五月二〇日

附 佐藤文吉願書ほか 明治二三年五 附共  
月二二日、二三日 中頸城郡長遠山 四通  
千里宛 三通

13 所得税金額送付書 黒川村役場 佐藤文吉 一通  
宛 明治二五年八月四日 封筒入

14 所得金高届通知書 黒川村役場 佐藤文吉 二通  
宛 明治二五年四月一九日 帯封入

15 出頭命令書 中頸城郡所得税調査委員会 一通  
黒川村佐藤文吉宛 明治二五年七月二日 封筒入

16 字十王堂堰及用水路訴訟実地臨検ニ付、 一通  
出頭依頼書 下黒川村大字馬正面区長橋立  
樋四郎、同村同字控訴人楢井久八郎ほか一人  
大出口村大字泉小池甚右衛門ほか三人宛  
明治二六年四月二一日

17 所得税納税等級金額回送書 黒川村役場 一通  
第四課 佐藤文吉宛 明治二六年八月一一日

18 出頭命令書 中頸城郡所得税調査委員会 佐 郵便はがき 一通  
藤文吉宛 明治二六年七月一一日

19 所得金高届督促書 黒川村役場 岩手佐藤 附共  
文吉宛 明治二七年六月一八日 二通  
附 税平均 一通  
廿四年以後三ヶ年米価地方税村

20 所得金高届督促書 黒川村役場 佐藤文吉宛 明治二七年六月二七日 封筒入 一通 九四三	21 所得税ニ関シ御尋ニ付頭令書 黒川村役場 大字岩手佐藤文吉宛 明治二七年七月六日 封筒入 一通 九四三	22 所持地反別地価届差出令書 黒川村役場 佐藤文吉宛 明治二七年六月七日 附 反別地価届 持主佐藤文吉 明治二七年六月九日 下書共二通 封筒入 附共 三通 九四三	23 所得金高届督促書 黒川村役場 佐藤文吉宛 明治二八年五月二七日 封筒入 一通 九四四	24 所得金高届督促書 黒川村役場 佐藤文吉宛 明治二八年五月三十一日 封筒入 一通 九四五	25 所得金高届督促書 黒川村役場 佐藤耕作宛 明治二九年五月二三日 附 前三ヶ年平均米価及地方税率通知書 明治三一年五月六日 黒川村役場 佐藤興吉宛 一通 封筒入 附共 二通 九四六	26 所得金高届督促書 黒川村役場 佐藤耕策・同興吉宛 明治三〇年五月一四日 封筒入 一通 九四七	27 営業税課税調査ニ付取調事項通知書 黒川村役場 佐藤耕策宛 明治三二年四月二六日 封筒入 一通 九四八	28・29 封筒 (中身なし) 明治三十八年第三種所得金額申告書用紙 (記入なし) 明治三十八年 封筒入 一通 九四九	佐藤耕策書簡 (所得税国許にて納付致したく、俸給年額算入されたき旨) 佐藤興吉宛 明治四一年四月一四日 封筒入 一通 九五一
籠島書簡 (代金七円三拾と取極め書出し申候旨御報せ) 佐藤宛 五月一七日 一通 九四三	湯本乾三郎書簡 (本年所得税通告に対し異議申立の雛形送付の旨) 佐藤興吉宛 明治三八年九月二〇日 附 所得金調査額決定ニ対シ異議ノ申立并附属書類 (雛形) 長野税務監督局長飯塚忠成宛 明治三八年九月二〇日 二通 封筒入 附共 三通 九四三	所得金額申告督促書 中頸郡黒川村役場 佐藤耕策宛 明治三十八年四月一一日 封筒入 一通 九四四	所得税申告督促書 黒川村役場 佐藤耕策宛 四月二七日 封筒入 一通 九四五	下黒川・黒川両村合同有志書簡 (本年度所得税通告に対し異議申立につき賛同呼掛け) 佐藤耕策・佐藤興吉宛 明治三八年九月一九日 附 所得金調査額決定ニ対シ異議ノ申立并附属書類 (雛形) 長野税務監督局長飯塚忠成宛 明治三八年九月二〇日 二通 封筒入 附共 三通 九四六	高田税務署封筒 (封筒のみ) 佐藤耕策宛 二枚 九四七	所得金額申告督促書 黒川村役場 佐藤耕作宛 佐藤興吉宛 明治三六年四月一一日 附 明治三十六年第三種所得金額申告書用紙 二枚 封筒入 附共 四通 九四八	所得金額申告督促書 中頸郡黒川村役場 佐藤興吉宛 明治三八年四月一一日 附 明治三十八年第三種所得金額申告書用紙 二枚 封筒入 附共 二通 九四九	所得金額申告督促書并縣税本税率通知書 黒川村役場 佐藤興吉宛 佐藤耕策宛 明治三三年五月一四日 封筒入 五通 九五〇	黒川村役場封筒 (封筒のみ) 佐藤興吉宛 一枚 九五二

出頭命令書〔所得届出につき御尋致度儀有之〕 中  
 額城郡所得稅調查委員會 黒川村大字岩手佐藤耕  
 策後見人佐藤与吉宛 明治三〇年七月二二日

人名連記 高田稅務署 佐藤與吉宛

所得金額決定通知書 高田稅務署稅務屬永野永吉  
 黒川村大字岩手佐藤与吉宛 明治三八年八月二  
 二日

出頭依頼書〔所得金高申告の儀につき御相談申した  
 く〕 黒川村役場 佐藤與吉宛 明治三二年八月  
 一日

\*岩手村地内増歩願一件書類  
 ↓「所持地」の項目(三七頁)をみよ。

所得稅金額ニ付請願書并決定通知書 明治三二年  
 大正五年

1、4 所得稅金額更訂之儀ニ付請願書控  
 佐藤耕策、佐藤與吉 高田稅務所長金澤中作  
 宛 大正五年一月  
 附 大正四年米売却数量價格買受人  
 届書控 二通

5・6 所得金額決定通知書綴 新潟稅務管  
 理局長、高田稅務署長 佐藤與吉・佐藤耕策  
 宛 明治三二年大正五年

高田稅務署問合状并返答控 佐藤耕策宛 明治四  
 一年七月八日

所得稅納稅申告書督促状 黒川村役場 佐藤耕策  
 宛 明治四二年四月六日

黒川村役場用状〔佐藤耕策に対する徴兵猶豫の願  
 書提出の督促〕 佐藤與吉宛 四月二三日

高田稅務署通知書〔宅地賃貸價格調査委員選舉執  
 行通知〕 高田稅務署長田中彦次郎 宅地賃貸價  
 格調査委員選舉人佐藤与吉宛 明治四三年八月四日

高田稅務署通知書〔所得調査委員選舉執行通知〕  
 高田稅務署長田中彦次郎 所得調査委員選舉人  
 佐藤與吉宛 明治四二年五月三一日

附 中額城郡所得稅調查委員撰舉人有志葉  
 書〔推薦状〕 佐藤与吉宛 一通

所得稅納稅申告書督促状 黒川村役場 佐藤與吉  
 宛 明治四二年四月六日

附 四十二年第三種所得金額申告書下書  
 一通

高田稅務署封筒〔封筒のみ〕 佐藤耕策宛、佐藤  
 與吉宛

土地金融証文

鴈海村専左衛門組合与右衛門外四名田地一作請  
 証文 岩手村友右衛門宛 天保九年三月

下灰庭村九右衛門金子請取証文〔借用金返済〕  
 岩手村啓助宛 嘉永二年二月二四日

藻一郎金子借用証文 佐藤宛 嘉永六年一二月  
 五月

湯本宗十郎金子借用証文 佐藤啓助宛 慶応元年  
 五月

岩野村省五民部省札借用証文 岩手村啓八宛  
 明治三年七月九日

馬正面村小林孫平金子借用証文 岩手村佐藤啓  
 八宛 明治六年一二月二四日

南黒岩村重原甚重金子借用証文 岩手村佐藤宛  
 明治五年七月一四日

附 甚兵衛書状 七月三〇日 佐藤宛

封筒入 一通 九六六

封筒入 一通 九六三

封筒入 一通 九五四

封筒入 一通 九五五

封筒入 一三点 九五五

一括 六点 九五七

封筒入 附共 四通

封筒入 一綴 一冊

封筒入 一通 九六三

封筒入 一通 九六四

封筒入 一通 九六五

封筒入 一通 九六六

封筒入 一通 九六七

封筒入 一通 九六八

封筒入 六枚 九六九

封筒入 一通 五七〇

封筒入 一通 五七九

封筒入 一通 五八三

封筒入 一通 五八七

封筒入 一通 五九四

封筒入 一通 五九六

封筒入 一通 五九七

封筒入 一通 五九八

<p>黒岩村重原甚重書状〔借金返済延期願〕 岩手村佐藤旦那宛 六月三〇日 包紙入 一通 五三三</p> <p>黒岩村重原甚重書状〔別紙金錢拝借〕 (明治一年)一月二〇日 附 金錢受領証 佐藤文吉宛 明治一年一月二〇日 包紙入 附共 二通 五三七</p> <p>芋嶋村小山彦一郎金子借用証文 岩手村佐藤文吉宛 明治六年一月二〇日 一通 五三三</p> <p>岩手村佐藤伝四郎水入証文等 明治七年〳九年 一括 二点 九七九</p> <p>1 岩手村佐藤伝四郎水入証文 岩手村佐藤泰助宛 明治七年二月 一通</p> <p>2 地主佐藤泰助・小作人佐藤伝四郎小作定入付米届書并水入証文写 明治九年四月九日、明治七年二月 半 仮一冊</p> <p>米山寺村忠次郎田畑水入証文写 岩手村佐藤啓八宛 一通 五五九</p> <p>友七借米証文 啓助宛 午七月 一通 五三八</p> <p>○佐藤家差出</p> <p>*岩手村喜太郎金子借用証文 高畑村安治郎宛 寛政一〇年一二月二七日 包紙入 一通 五六一三</p> <p>*岩手村佐藤文吉金子借用証書 柿崎駅小出与惣治宛 明治一二年一〇月二四日、明治一五年一月三一日 四通 五六一二 五</p> <p>*岩手村佐藤文吉金錢借用証書 柿崎駅友七宛 明治一四年四月五日 一通 五八六三</p> <p>*岩手村佐藤文吉金子借用証文 柿崎駅沼伊十郎宛 明治一五年一月二二日、四月一九日 二通 五八七三 八四</p>	<p>*岩手村佐藤文吉分佐藤長八金子預り証書 柿崎宿小出与三治宛 明治一五年四月二〇日 一通 五九六七</p> <p>*岩手村佐藤文吉代理佐藤与吉金子借用証書 柿崎中村与三次宛 明治一五年七月二九日 一通 五九六六</p> <p>*岩手村佐藤文吉金錢借用記 柿崎駅沼伊十郎宛 明治一七年八月九日 一通 九二七五</p> <p>地主帳簿</p> <p>*居村抱持田畑山入附米取立帳 岩手村佐藤文吉 明治一二年一〇月二四日 横長半 一冊 九〇二二</p> <p>(万書留帳断簡) (明治) 約二冊分 九一七</p> <p>小作地經營</p> <p>岩手村八平為取替一札〔圖金利足支払難儀につき、田地入立米にて支払う旨取決め〕 庄右衛門宛 文化一四年正月 一通 五三八</p> <p>〔注〕本文書は次の文書(五二二七)と一括されていたもの。</p> <p>岩手村友右衛門差出一札下書〔相返すべき質地証文紛失につき〕 庄右衛門宛 天保二年一二月 一通 五三七</p> <p>某差出一札写〔狸平村太右衛門名田地質地請返し出来申さず拙者方に差し置きたき段〕 弘化四年一二月 一通 五三六二</p> <p>下灰庭村庄屋貢三郎当寅年貢米并村方借用米目録 岩手村啓助宛 嘉永七年二月 一通 五三九</p> <p>*当子本田山田稗田共悪作引米覚 阿弥陀瀬村与頭七右衛門 岩手村啓助宛 元治元年一二月 一通 五九七六</p>
--	---

米山寺村支配人藤兵衛外五名差出一札〔当辰年悪作につき御上納米に差し支え、本米八俵拜借仕り小前一同へ貸附置候処相違無き旨〕 岩手村佐藤啓助宛 明治元年十一月

一通 五七二

明治元辰年下灰庭村悪作引覚 明治元年

二通 五六一

\*馬正面村懸持分作徳米差引覚 馬正面村支配人六郎右衛門 岩手村佐藤宛 明治元年四月

横長美 一冊 五四〇・二四

米山寺村長作外五名借米一札〔当秋大遠作につき〕 岩手村佐藤啓八宛 明治二年十一月

一通 五六〇

\*寅悪作引覚 鷹海村山沢権治郎 岩手村佐藤文吉宛 明治二年

一通 九〇六・一四

岩手村佐藤忠太証書下書〔小作受地に植付け申候クルミ、土蔵土台木に使用の旨〕 佐藤文吉代人高田川原町鈴木幸藏宛 明治二年十一月

二通 九三九

岩手村喜太郎納米仮目録下書 米山寺村庄屋中宛 未二月

前欠 一通 五八四

鷹海村喜作差出一札〔是迄心得違につき詫状〕 岩手村佐藤文吉宛 未七月

一通 五五八

猿毛村孫治右衛門徳米勘定覚 十一月八日

一通 五四〇

芋嶋村作兵衛覚書写〔弘化二年より郷蔵引替の節御引捨米荒地引差引勘定〕 高原宛

一通 五四〇

佐藤家小作入付米差引勘定覚并普請人足覚 灰庭村九右衛門

一通 五八五  
二枚

争論・一件

○原町村小作地出入

→『佐藤家文書目録（その一）』二四二頁をみよ。

西嶋組原町村庄屋作右衛門喜三郎請書写〔下町村定右衛門掛持高、岩手村八平方へ付替候様御吟味につき〕 大肝煎八木文左衛門奥書 郡御奉行所宛 宝暦四年三月二十六日

六通 五三〇・二

\*定右衛門亡父多惣右衛門書状写〔原町村田地一件につき申上〕 友右衛門宛 二五日

一通 五七〇

\*原町村吉田与一右衛門書状并下町村坂口定右衛門書状 佐藤八平宛、佐藤友右衛門宛

一括 六通 五七三

→詳しくは、「書状」の項をみよ（六二頁）。

○樋場村田地一件

→『佐藤家文書目録（その一）』二四五頁をみよ。

竹直村久右衛門取替金済口受取一札 高田中屋敷町六郎次宛 寛政一〇年二月

一通 五五〇

享和元年酉ノ八月御役所御差紙付土肥六郎治加藤与惣左衛門小田久右衛門懸合諸書物入

袋入 四一点 五五五

〔注〕以下は一括されていたもの。5と6、7と10、13と15、22と26、29と32。一件と関係不明のものも含まれる（22と26など）。

1 喜太郎口上之覚書

三通

4 佐藤千次郎書状 佐藤喜太郎宛 九月五日

一通

5 米松書状 尊父宛 八月一日

一通

6 某書状 八月一日

一通

7 利兵衛代金勘定覚〔干いわしほか〕 藤三郎宛 八月一日

一通

8 10 書状下書断簡等

三通

- 11 岩手村佐藤文左衛門書狀 佐藤喜太郎宛  
八月二十九日 一通
- 12 岩手村佐藤文左衛門書狀 佐藤喜太郎宛  
八月二十九日 一通
- 13 享和元酉秋角力興行〔榎場村田地一件を風刺したものと思われる〕 一枚
- 14・15 狂歌〔一件を風刺したものか〕 二枚
- 16 某口上写 一通
- 17 御役所江久右衛門申上之事 横長美 一冊
- 18 祖明書狀 □水雅伯 霜月六日 一通
- 19 権兵衛口上書 喜太郎宛 九月一日 一通
- 20 大肝煎用狀〔手代中より御差紙につき、高田へ御出町なされた旨〕 岩手村庄屋喜太郎・竹直村同小田久右衛門宛 八月一三日 一通
- 21 佐藤半治書狀 平六宛 六月二十六日 一通
- \*22 26米山寺村庄屋庄右衛門戌御年貢米金諸懸り算用目録等 佐藤勇吉宛、啓助宛、友右衛門宛 天保九年十一月、十二月 一括 五通
- 27・28 (下条村長太郎作徳米滞につき願書写) 附共 二通
- 29 支配人目録 (芋嶋村) 林右衛門 佐藤宛 横長半 一冊
- \*30 下小野村庄屋六右衛門助右衛門辰年貢米諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 辰一二月 一通

- \*31 下小野村庄屋助右衛門当辰之御過納永差引覚 岩手村喜太郎宛 一通
- 32 納永差引覚 一通
- \*33 岩手村喜太郎金子借用証文 高畑村安治 包紙入 一通
- 郎宛 寛政一〇年十二月二十七日
- 34 36 短冊等 斧休 包紙入 三点
- 37・38 膝洗栄子書写 二枚
- 39・40 狂歌 二枚
- 41 包紙 一通
- 芋嶋村幾左衛門質地出入  
↓『佐藤家文書目録(その二)』二四六頁をみよ。
- 芋嶋村幾左衛門答書写〔岩手村友右衛門訴出の質地出入〕 惣代所宛 文政九年六月 一通 五二五
- 水野村小作地一件  
↓『佐藤家文書目録(その二)』二〇八頁上段をみよ。
- 説諭願下書〔黒川村字水野小作地出入〕(佐藤文吉) 一通 四六五  
(明治二年カ) (二枚)
- 所有地毀損復修訴訟  
↓『佐藤家文書目録(その二)』二四七頁をみよ。
- \*鈴木幸藏書狀〔召喚日決定につき、証書類携帯の上、出張相成りたき旨〕 佐藤文吉宛 一九日 一通 六七三
- 初田堰詰所有地一件

→『佐藤家文書目録（その一）』二四七頁「所有地毀損復修訴訟」をみよ。

\*初田堰詰字長瀬自費堤防工事一件文書 明治一 袋入 五二点 九五六  
七年〜二八年

〔注〕 9〜28は新聞（『新潟新聞』明治二七年三月二八日号）でひと包みにされていたもの。

29〜37は新聞（『新潟新聞』明治二三年七月三日号）でひと包みにされていたもの。

38〜40は新聞（『新潟新聞』明治二三年六月二五日号）でひと包みにされていたもの。

41〜52は新聞（『新潟新聞』明治二六年一月二八日号）でひと包みにされていたもの。

1〜8長瀬堤防工事につき黒川村役場回報写、日記覚書、願書下書等 明治二八年 一括 八通  
七月一九日〜二九年一〇月

9・10御臨検ノ申請并添絵図面控（大字岩手初田堰詰々南ノ所有地毀壞につき臨検申請） 黒川村大字岩手佐藤文吉代兼佐藤興吉 第四区土木工営派出所宛 明治二七年九月一七日 一通 一枚

11堤防修繕工事御許可願（黒川村大字岩手地先字長瀬米山川堤防） 黒川村大字岩手吉村泰治ほか二名 新潟県知事籠手田安定宛 明治二七年九月二二日 一通

12佐藤文吉ほか二名願書（米山川堤防自費修繕願） 新潟県知事籠手田安定宛 明治二七年九月二八日 一通

13佐藤興吉願書下書（自費堤防工事大急御許可願） 新潟県知事籠手田安定宛 明治二七年一二月二四日 一通

14佐藤興吉願書下書（堤防工事必要との上申の理由を伺いたき旨） 土木課宛 明治二七年一二月二四日 一通

15・16佐藤興吉出頭書 明治二七年一二月二四日 二通

17佐藤興吉願書下書（検分再願） 新潟県知事籠手田安定宛 明治二七年一二月二六日 一通

18黒川村大字岩手佐藤興吉ほか三名伺書并黒川村役場却下附箋（自費堤防修繕工事不必要の理由につき伺） 黒川村長湯本又三郎宛 明治二七年一一月三〇日 一通

19黒川村大字岩手佐藤興吉ほか二一名願書并黒川村長湯本又三郎奥印拒否理由書（自費堤防修繕工事再願） 新潟県知事籠手田安定宛 明治二八年一月一二日 一綴（二通）

20第四区工営派遣所主任岩永新五郎問合書写（初田堰普通水利組合と貴村とに係る特約等無につき） 黒川村長湯本又三郎宛 明治二八年四月一〇日 一通

21佐藤興吉願書下書（実地検分願） 第四区土木工営派遣所所長田村桂宛 明治二八年八月一四日 一通

22初田堰普通水利組合管理者下黒川村長内藤弥太郎答申書写 第四区土木工営派遣所宛 明治二八年九月二〇日 一通

23初田堰修築工事願ニ対スル故障申立書下書 一通

24〜28中頸城郡役所第一課申達書ほか写 明治二八年一月二三日ほか 五通

29図面下書 一枚



30 佐藤與吉願書下書〔檢分願〕 新潟県知事 籠手田安定宛 明治二七年二月二六日	一通
31 (佐藤與吉) 願書下書	一通
32・33 図面下書	二枚
34・35 佐藤與吉願書下書〔檢分願〕 新潟県 知事籠手田安定宛 明治二七年二月二六日	二通
36 黒川村大字岩手佐藤はか二十名願書下書 〔自費堤防修繕工事再願〕 新潟県知事籠手 田安定宛 明治二八年一月	一通
37 佐藤文吉書簡〔郡役所より召喚書到来につ き〕 佐藤与吉宛 一月七日	一通
38 図面下書	一枚
39 (願書下書)	一通
40 高田新聞附録第四百七十三号〔官令並縣 庁録事〕 明治一七年二月五日	一枚
41 中頸城郡上小野村総代三上喜太郎はか願 書〔岩手村耕地増歩出願につき故障〕 中 頸城郡長渡辺健蔵宛 明治一七年一月	一通
42 52 願書下書断片	一枚
*初田堰普通水利組合へ岩手村地内土地賃貸一件 文書 明治一七年大正八年	包紙入 五九点 九五五
1・2 中頸城郡岩野岩手両村地内双方立会 実地測量絵図面 中頸城郡高田上職人町控 訴原告代人香西護郎・同川原町控訴と告代人 鈴木幸蔵 新潟始審裁判所高田支庁判事鈴木 政五郎宛 明治一七年一月一九日	二枚
3・4 黒川村大字岩手地主惣代佐藤與吉外 三名願書控〔字長静地囲工事の件、初田堰 組合実行せざるにつき、自費修繕工事願〕 新潟県知事浅田徳則宛 明治二九年一月六 日	二通
5 黒川村大字岩手地主惣代佐藤與吉外二名 願書控〔同前の内容〕 新潟県知事勝間田 稔宛 明治三〇年七月二七日	一通
6 借入金之証写 中頸城郡下黒川村大字上小 野負債者木村乾太郎 同郡黒川村大字岩手佐 藤與吉宛 明治三一年九月一〇日	一通
7 新潟県中頸城郡黒川村大字岩手佐藤與吉 戸籍謄本写 明治三三年六月二六日	一通
8 新潟県中頸城郡中吉川村大字竹直小田久 吾戸籍謄本写 明治三三年六月二八日	一通
9 水車新設ニ関スル願下書	一通
10 12 水車新設差止願下書 中頸城郡黒川 村大字岩手佐藤與吉 中頸城郡長中村正彦宛 明治三二年九月一七日	三通
13 日記〔水車新設差止願の件など〕 明治三二 年九月一七日より	三枚
14・15 謄本下附願下書 中頸城郡黒川村大字 岩手地主惣代佐藤與吉 新潟県知事勝間田稔 宛 明治三二年一〇月九日	二通
16 中頸城郡役所出頭要請状〔水車新設上故 障之件ニ付〕 佐藤與吉宛 明治三二年一一 月二一日	一通
17 潟町柳澤三平書簡 佐藤耕策宛 明治三二 年一一月一七日	一通

- 18 鉢崎近藤甚平葉書 佐藤與吉宛 明治三二年一月二日 一通
- 19 鉢崎村近藤甚平家内葉書 佐藤耕造・與吉宛 明治三三年三月二十九日 一通
- 20 27 地所小作契約書草案并下書 (七通)(八枚)
- 28 地所小作契約書 中頸城郡下黒川村初田堰普通水利組合管理者下黒川村長三上謙三・同郡黒川村大字岩手地主佐藤耕策ほか 明治三二年一月二三日 一通
- 29 添約書(地所小作契約書添約書) 水利組合管理者小作人三上謙三・地主佐藤耕策ほか 明治三二年一月二三日 一通
- 30 地所小作契約書 中頸城郡下黒川村初田堰普通水利組合管理者下黒川村長角張友三郎・中頸城郡黒川村大字岩手佐藤耕策 大正八年一月二三日 一通
- 31 小作地図面下書 一枚
- 32 佐藤(與吉カ) 書簡下書(初田堰組合と土地貸借契約の件) (佐藤耕策宛カ) 一通
- 33 小田久吾書簡 佐藤与吉宛 六月二十九日 封筒入 二通
- 34 委任状下書(初田堰普請水利組合へ土地賃貸の件につき黒川村大字岩手佐藤與吉を以て代理人とする旨) 黒川村大字岩手佐藤耕策未丁年ニ付、母佐藤みチ 明治三三年七月四日 一通
- 35 自費地田工事引下願并届書下書 黒川村大字岩手佐藤與吉外三名、佐藤耕策未成年ニ付親権者佐藤トク 新潟県知事千頭清臣宛 明治三三年八月三日 一通

- 36 土地賃借權設定ニ付登記申請 中頸城郡下黒川村初田堰普通水利組合管理者下黒川村長三上謙三・同郡黒川村大字岩手佐藤耕作親権ヲ行フ母佐藤トク・代理人佐藤與吉 高田区裁判所柿崎出張所宛 明治三三年七月四日 一通
- 37 佐藤耕策戸籍謄本写 明治三二年六月二六日 一通
- 38 自費地田工事引下願并地所小作契約届等控 中頸城郡黒川村大字岩手佐藤與吉、佐藤トク 新潟県知事千頭清臣ほか宛 明治三三年八月三日 (一綴)(三通)
- 39 上小野木村謙太郎書簡(登記所へハケ村同伴の必要な旨御報せ) 佐藤与吉宛 六月三〇日 封筒入 一通
- 40 佐藤與吉書簡下書(登記申請日限の件につき) 小田宛 七月二日 一通
- 41 木村謙太郎書簡(登記出頭の打合せにつき) 佐藤与吉宛 七月三日 一通
- 42 小作受差入証書下書 明治 一通
- 43 届書下書(佐藤耕策所有公債の管理の件) 佐藤耕策母佐藤(トク) 日本銀行高田代理店宛 一通
- 44 料理代金等受取書 紀伊国屋、大長庵、富貴桜 岩手村佐藤宛 一月一日日ほか 一通
- 47 成資銀行書簡(株券式拾枚差上候間、申込証拠金及第一回払込金受領証に御引替下されたき旨) 中頸城郡中吉川村大字竹直株式会社成資銀行 岩手佐藤耕(耕) 作宛 一月二日 封筒入 一通

48 (明治十四年度ヨリ廿八年度マデ収入金支出金)	飯一冊	佐右衛門諸品代金勘定覚〔大鱈ほか〕 元治二年正月 佐藤宛	一通 五五八
49 佐藤與吉書簡〔封筒のみ〕 職人町宮崎久信宛	一枚	湯町善太郎米代金勘定覚等 慶応元年	一括 三通 五五七
50 原書簡〔矢代川通り村々協議会合のため本日は面談できぬ旨〕 大島宛 一〇月二六日	一通	1 湯町善太郎当丑米代金勘定覚 岩手佐藤宛 慶応元年二月八日	一通
51 柏崎町野俣庄左衛門書簡 佐藤與吉宛	一通	2 (湯町) 善太郎米代金勘定覚 高原宛 六月一四日	一通
52 大島書簡 佐藤與吉宛 一一月七日	一通	3 湯町善太郎書状 上小野三上氏ほか宛 一〇月一四日	一通
53 大島書簡 原備将宛 一一月一五日	一通	湯町内藤善太郎書状〔金拾老両ほか差上の件〕岩手村佐藤宛 九月一八日	附共 二通 五七九
54 某書簡 佐藤老人宛 二九日	一通	附 湯町内藤善太郎覚書〔品代勘定書並びに金拾老両・証文一通差上〕岩手村佐藤宛 九月一七日	附共 二通
55 黒川酒造株式会社支配人小山富士太郎書簡 佐藤宛 一二月一七日	一通	去子預々米代勘定覚 高原 いもの嶋村助左衛門宛 慶応元年九月	附共 二通 五三三
56 授業料領収書 中頸城中学校小田範一佐藤俊策宛 明治三三年九月一八日	一通	附 子年分徳米差引覚	
57 59 地図下書ほか	三枚	蔵米請取覚 直海浜幸左衛門・佐三右衛門外 岩手村高原宛 卯七月二五日〜九月二七日	(二〇通) 五五五
勘定書・請取書(売米、諸品、地租・地方税・郡村入費等)		蔵米請取書・諸村用状等〔御蔵米請取書、先納金割賦書そのほか米附出しに関する用状等〕	一括 四四通 五九六 (もと一綴か)
○明治前		岩野村籠嶋屋源〔右衛門蔵米請取書 岩手村松五郎宛 酉二月五日〕	一通 五四一
岩手村高原様御通 高田中小町能登屋 天保二年正月	一冊 五八三	預米代金差引勘定書 星野 佐藤宛 酉十二月	一通 五四六
酒之御通 米山寺村酒屋 岩手村高原宛 天保九年	一冊 五三三	平野勘兵衛蔵米請取書 高原旦那宛 卯三月二八日	一通 五九四
米山寺村瀬左衛門酒代勘定覚 岩手村佐藤勇吉宛 戊(天保九年)一二月	一通 五三四	飛脚賃其外品代請取書等綴 佐藤半次ほか宛 丑九月四日ほか	一綴 (七通) 五九四

甚兵衛品代受取書〔平め代〕	高原旦那宛	三月 二二日	一通 五二〇五
松右衛門代金勘定書〔錢箱代・米代〕	高原宛	丑一二月	一通 五二七
芋嶋村酒屋与次右衛門代金勘定覚	岩手村佐藤宛	七月二日	一通 五二六
呉服町野口屋金子請取覚	鷹海村喜作宛	未六月 二四日	一通 五二九
吉田屋八右衛門代金勘定書〔かつお節ほか〕	岩手村高原宛	午三月	一通 五八一
茂兵衛代金勘定覚〔上下仕立代ほか〕	善次郎宛	八月一四日	一通 五八四
柿崎小出儀助品代勘定書	佐藤松五郎宛	申二月 二七日	一通 五三〇
御買物通帳	野俣屋庄左衛門 佐藤宛	西歳	一冊 五三三
高田串田治左衛門品代勘定書〔菊花ほか〕	佐藤八良兵衛宛	寅一〇月二三日	継一通 五七六 (二通)
代金勘定書	上宛	四月四日	一通 五九五
品代勘定書等	佐藤宛		六通 五四七
大乘寺村仏師忠次郎代金勘定書	岩手村高原宛	未一二月二八日	一通 五五八
子丑屋徳兵衛品代受取書〔桑油〕	岩手村佐藤喜太郎宛	子七月二〇日	一通 五七六
金子受取覚下書			一通 五八一
上小野木村豊平品代覚〔こぬか五俵〕	岩手村佐藤喜太郎宛	午一二月	一通 五四〇

〇明治

今町菅屋弥市右衛門品代勘定書并米代金目録	佐藤慶助宛	辰一〇月二六日、巳一〇月一七日	三通 五八〇
内蔵米受取書・品代勘定書等	明治二年ほか	一括	二五五 五七
〔注〕	1、14は一括されていたもの。		
1 内蔵米受取書綴	直海浜村三原屋忠右衛門ほか 岩手村高原宛	明治二年	一綴 (八通)
2 14内蔵米受取書	尾神村勝十郎ほか 岩手村高原宛	明治二年	一三通
15 25米代・品代勘定書	柿崎八木重右衛門ほか 岩手村佐藤宛	辰年、午年	一一通
水野村曾田新十郎預り金一札〔水野村米山寺郷蔵過米代金〕	岩手村佐藤文吉宛	明治四年一月	附共 二通 五五五
地租・地方税書類等〔袋表書〕	明治八年 岩手村佐藤啓八分年々戸長元ヨリ之配符入袋	馬正面村 袋入	六〇点 五四七
小林禄平控	明治六、一三年		
〔注〕	14と59は一括されていたもの。15と58は一括されていたもの。23と25は一括されていたもの。		
1 当酉畑米石代割賦書	馬正面村用掛竹内喜由治 岩手村佐藤啓八宛	明治六年一〇月	一通
2 畑米石代・国役金受取証	馬正面村用掛竹内喜由次 岩手村佐藤啓八宛	明治七年一月	一通
3 8管内割・区費・諸入費受領書	馬正面村用掛・六番組戸長竹内喜代志ほか	佐藤啓八宛 明治八年	六通

9	20管内石割・区費・諸入費受領書 番組戸長吉井佐一郎 佐藤啓八宛 明治九年	一二通
21	管内現石割・区費・諸入費受領書綴 番組戸長高嶋清十郎ほか 佐藤文吉宛 明治一〇年	一綴
22	管内割・区費・諸入費受領書 戸長吉井佐一郎 佐藤啓八宛 明治一〇年	七通
23	管内石割等受領書 第七大区小七区一二番組戸長吉井佐一郎 佐藤啓八宛 明治一〇年 一月一九日	一通
*24	馬正面村懸持分作徳米差引覚 支配人六郎右衛門 岩手村佐藤宛 明治元年 四年	横長美 仮一冊
25	戸長配符取替金勘定覚 平 岩手村佐藤宛 明治一二年七月	横長美 仮一冊
26	31佐藤文吉ほか金子借用証 郎宛 明治九年、明治一〇年	六通
32	地租納入令書 明治一三年四月一四日	一通
33	48柿崎鈴木龍太郎書簡・米代勘定書等 佐藤宛 明治一〇年(ほか年欠分)	一六通
49	57品代勘定書・受領書等 嘉助ほか 佐藤宛 明治一〇年(ほか年欠分)	九通
*58	上小野組鴈海村百姓手続書写〔組頭作左衛門御役差替願〕 二二月	横長半 仮一冊
*59	上小野組鴈海村百姓代倅久作外六名差上一札〔百姓与平外一人より同村久作外一人へ掛り箱訴一件々条の内、御利解之段承知〕 民政御役所宛 明治三年二月二九日	一通

佐藤家文書目録 佐藤家 経営

60	紙見本届ほか 今町筈や 高原宛 附 印紙 六枚	包紙入 三通 六枚
	柿崎加藤千吉指出一札〔買請米の内百俵破談の件〕 岩手村竹原旦那宛 明治七年八月一二日	一通 五六一
	明治十年前季管内定額大区費石割・同戸数割等受領書 二番組戸長新部與八郎 佐藤文吉宛 佐藤丹次郎宛 明治一〇年七月一七日	二通 九七六
	明治十三年一月ヨリ新屋諸方目録〔地租地方税諸入費賦課書・諸品代金その他金銭勘定書并受領書・内蔵米積預り証書・佐藤与吉金銭出引記帳、その他〕 (明治一〇年) 明治一四年	袋入 八〇点 九五五
	地租・地方税・諸入費賦課書并受領書、品代勘定書・受領書等〔袋表書〕明治十四年目録入〕 明治一〇年一四年	袋入 五三点 九八六
〔注〕 2、5は1の挿入文書。 7、53は一括されていたものである。		
1	地租・地方税等賦課書并受領書綴 佐藤文吉宛 明治一〇年一二年	一綴
2	小区組合村万雑石課受領書 八番組戸長坂口助石 佐藤啓吉宛 明治一一年六月	一通
3	管内并大区定額石課受領書 八番組戸長坂口助石 佐藤啓吉宛 明治一一年一月二二日	一通
*4	寅悪作引覚 鴈海村山沢権治郎 岩手村佐藤文吉宛 明治一一年	一通
5	代石村森口佐兵衛書状〔当一一年課金之義につき〕 佐藤宛 (明治一一年) 八月一四日	一通
6	地租・地方税等賦課書并受領書綴 佐藤文吉宛 明治一二年一三年	一綴

- \*7 金銭出入帳 岩手村佐藤与吉 明治一四年  
二月 横長美 一冊
- 8 (品代勘定帳) (醤油、上わらし、晒ほか)  
米山寺坂井屋 岩手村新佐藤宛 明治一四年  
八月 横長美 飯一冊
- 9 37地租・地方税・諸入費賦課書并受領  
書 明治一四年 二九通
- 38 品代勘定書・受取書綴 柿崎とんやほか  
岩手村新屋ほか宛 (明治一四年) (一綴  
(六通))
- 39 52品代勘定書・受領書并金銭預り書等  
小池竜玄ほか 岩手村佐藤文吉ほか宛 (明治  
一四年) 一四通
- \*53 金銭借用証書 岩手村佐藤文吉 柿崎駅友  
七宛 明治一四年四月五日 一通
- 品代勘定書・書状・願書下書等  
包紙入 四八点 五七九
- 〔注〕 九〇七九は、内容の関連性に不明な部分が大きい。なお、2  
と3は一括されていたもの。
- \*1 郡中村々願書下書 (助郷人馬賃銭・宿々繰  
出人足賃銭等郡中割懸け迷惑につき願下げ)  
上宛 明治二年八月 横長美 一冊
- 2・3 柿崎鈴木屋龍多郎品代勘定書 (草煙、  
椎茸代ほか) 岩手村高原宛 明治一一年二  
月二日、一二年一月二二日 二通
- \*4 願書下書 (高田・川浦・糸魚川三管内の人  
馬負担等を平均にされたい旨) 明治二年九  
月 (一通  
(二枚))
- 5 過納米不納米書立覚 一通

- \*6 当子本田山田稗田共悪作引米覚 阿弥陀  
瀬村与頭七右衛門 岩手村啓助宛 元治元年  
十一月 一通
- 7 金銭勘定書 鷹海村室岡伝十郎 佐藤文吉  
宛 明治六年一〇月 一通
- 8 高田新聞社幹事中川源藏書簡 (本社臨時  
大会日程の件) 佐藤文吉宛 明治一六年一  
二月七日 一通
- 9 国役古割金覚書 鷹海村戸前惣代 岩手村  
佐藤啓八宛 明治六年一二月 一通
- 10 茶掃除・屋敷掃除勤人覚 一通
- 11 蔵詰米書上 一通
- \*12 家康公・綱吉公御判定書写 (神社提書)  
元和元年、天和二年 一通
- \*13 鈴木幸藏書状 (召喚日決定につき、証書類  
携帯の上、出張相成りたき旨) 佐藤文吉宛  
一九日 一通
- 14 柿崎宿鉢崎宿定詰人足差配役等日数覚  
岩手村佐藤泰助 辰一一月三〇日 一通
- \*15 願書下書 (去辰年会津征討諸官軍御通行人  
馬継立百姓一同難渋につき) 明治二年九月  
馬継立百姓一同難渋につき 一通
- 16 衣屋金蔵品代勘定書 上宛 七月七日 一通
- 17 小野三上喜惣右衛門書状 (御料人様御馳  
走御見舞御礼ならびに忌日別紙認め差上云  
々) 佐藤文吉宛 四月一八日 一通
- 18 内蔵米買極証 柿崎沼伊十郎 岩手高原宛  
一〇月二六日 一通

19 小田書状「野田へ御祝を遣わすべき旨仰せ聞かされ、承知の旨」 佐藤宛 正月四日	一通
20 中小町薩美覚治郎書状「集会御一決之義は水原府御何之上当役所へ願立に相成るべき旨に候得共、水原府は廃され候由御知らせ」 岩手村佐藤若御主人宛 八月一二日	一通
21 領奉行所差紙写「(岩手村佐藤啓助召出) 大肝煎所 岩手村庄屋中宛 已正月三〇日	一通
22 書状下書断簡	四枚
23 届書下書「鎮台補闕兵召集につき岩手村該当者書上の件」	一通
* 24 領奉行郷村触書写 寛保四年二月	一通
25 借用金元利勘定記 (明治)	一通
26 原町出会人数「梶村組・高畑組・湯町上組惣代人名前」	一通
27 願書下書「(去年中、黒岩にて官軍御宿陣御休泊料并人足賃等會計御払金にて受払仕候件につき)」	一通
28 貢租六期納受領証 第七大区小七区六番組戸長高嶋清十郎 佐藤文吉宛 明治一二年四月	一通
29 酒屋市郎右衛門代金勘定書 上宛 三月一七日	一通
30 圖金勘定寛	一通
31 三上書状「(一統御揃御出を相待居候旨)」 佐藤宛	一通
32 第七大区小五区八番組村々村惣代兼改正用掛願書下書「(戸長兼務により事務等閑につき、組内中に戸長置かれたき旨)」 新潟県令永山盛輝宛 明治一一年五月五日	一通
33 岩手村佐藤文吉金錢預り証書「(抹消済のもの)」 四ッ屋村米屋仙之助宛 明治六年七月一日	一通
34 某書状「(示談申度義あり)」 佐藤文吉宛 八月一〇日	一通
35 蔵納米切出米覚	一通
36 蔵納米切出米覚	一通
37 徳米差引勘定覚	一通
38 芋島村市原磯吉代金支払覚「(米代金カ)」 岩手村佐藤宛	一通
39・40 渡米覚	二通
41 米平均相場等覚	一通
42・48 書状下書等	七枚
売払米請取書等 明治二年一三年	袋入 二点 九〇三
1 柿崎四ッ目屋はか売払米請取書綴 岩手高原宛 明治一三年五月二日より	一綴
* 2 居村抱持田畑山入附米取立帳 岩手村佐藤文吉 明治一二年一二月二四日	横長半 一冊
米代等受領書并米俵受領書等 明治一二年一 大正元年	一括 七点 四七七
1・4 柿崎鈴木龍太郎外米代油代受領証等 岩手村佐藤宛 明治一二年	四通

5 7米俵出入勘定書・受領書等綴 四三年、大正元年	明治 一綴 二通
明治十三年商人外目錄 明治一三年	袋入 一綴 九二五
地租・地方税等賦課書并品代勘定書・受領書、 正眼寺關係書付類等 明治一四年、二七年	包紙入 一元点 九〇七 (新聞紙)
1 27地租・地方税・諸入費賦課書 戸長 高島清十郎ほか 佐藤與吉ほか宛 明治一四 年、一五年	二七通
*28 金錢出入帳 岩手村佐藤与吉 明治一五年 一月一日	横長半 一冊
29 (品代勘定帳) 米山寺坂井屋 岩手村新 佐藤宛 明治一五年八月	横長半 仮一冊
30 81品代勘定書・受領書等 佐藤与吉ほ か宛 明治一五年ほか	五二通
82 (品代勘定帳) 坂井屋 新佐藤宛 明治 一五年一月二五日	横長半 仮一冊
*83 84金子借用証文 岩手村佐藤文吉 柿崎 駅沼伊十郎宛 明治一五年一月二二日、四月 一九日	二通
*85 皇大神宮御初穂帳 新潟県中頸城郡岩野村 明治二〇年末	横長半 一冊
*86 139正眼寺關係書付類等〔正眼寺米受領 書、品代勘定書、明治二十年正眼寺屋根替帳 并人夫書上など〕 明治一五年、二七年	四冊 五二通
明治十四年諸方村々地租地方税村費商人目錄 明治一四年	袋入 九点 九〇六

1 地租・地方税・諸入費受領書并品代勘定 書・受取書等綴 佐藤文吉ほか宛 明治一 四年	一綴
*2 5 岩手村佐藤文吉金子借用証書 柿崎 駅小出与惣治 明治一二年一〇月二四日、明 治一五年一二月三一日	一通
*6 岩手村佐藤文吉代理佐藤与吉金子借用証 書 柿崎中村与三次宛 明治一五年七月二九 日	一通
*7 岩手村佐藤文吉分佐藤長八金子預り証書 (控カ) 柿崎宿小出与三治宛 明治一五年 四月二〇日	一通
8 9 中村屋小出与惣次金錢勘定書并請取 書 午(明治一五年)一二月、未(明治一六 年)一月四日	二通
明治十五年地租・地方税等賦課書・受取書并品 代勘定書・受取書等綴 明治一五年	一綴 九〇四
代金勘定書・通帳・領收書等綴 明治一六年	一綴 四七六
明治十七年一月ヨリ八月迄明治十六年地租第三 期同四期諸課賦帳并戸長請取入袋 明治一六年、 一七年	袋入 三二点 九三六
1 明治十六年度地租第三期・地方税追加割 課賦簿 岩手村 明治一七年一月七日	横長半 一冊
2 組合費地価割・同単戸割・明治十六年学 校資本金利子後期課賦帳 岩手村 明治 一七年一月	横長半 一冊
3 明治十六年田方地租第四期取立簿 岩手 村 明治一七年三月二二日	横長半 一冊



4 明治十七年地租第壹期・同学校資本金利息・同学校費事務委員費・地券台帳認費課賦帳 岩手村 明治一十七年七月八日ヨリ	横長半	一冊
5 明治十七年度衛生農事委員費課賦取立帳 岩手村 明治一十七年一〇月二十九日	横長半	一冊
6 明治十七年度地方税後期課賦帳 中頸城郡岩手郷 明治一十七年二月	横半	一冊
7 明治十七年度地租第三期取立帳 中頸城郡岩手郷 明治一十七年二月	横半	一冊
8 明治十六年度田税第三期預り米願并積預り米御請書 岩手村地主惣代鈴木源吉ほか五名 新潟県令永山盛輝代理大書記官木梨精一郎宛 明治一十八年一月二五日	三綴	
11 30地租・学校資本金等受領書ほか 戸長高嶋清十郎、戸長役場 岩手村佐藤文吉宛 岩手村総代宛ほか 明治一十六年、一十七年	二〇通	
31・32 小札	二綴	
明治十七年村々地租地方税郡村費買懸諸商人目録 明治一十七年	袋入	二綴 六九六
1 地租・地方税・諸入費賦課書并受取書綴 明治一十七年	一綴	
2 諸品代金等金銭勘定書并受取書等綴 明治一十七年	一綴	
明治十八年地租配賦地方税配賦学校費郡内費戸長役場費諸方買物目録 明治一十八年	袋入	五點 九二七
1 地租・地方税・郡村諸入費等受領書綴 佐藤文吉宛 明治一十八年	一綴	

---

2・3 米受取書綴 柿崎沼伊十郎、柿崎四ツ目屋ほか 岩手村佐藤宛 明治一十八年	二綴	
4 諸品代金その他金銭受領書等綴 明治一十八年	一綴	
* 5 岩手村佐藤文吉金銭借用証 柿崎沼伊十郎宛 明治一十七年八月九日	一通	
明治十九年地租・地方税等賦課書・受領書并品代勘定書・受領書等 明治一十九年	一括	五點 六九一
1 3地租・地方税・諸入費賦課書并受領書綴 戸長田中金平ほか 佐藤文吉宛 正眼寺宛 明治一十九年	附共 二綴	
附 地租・地方税書付覚 二通		
4 米受領書・米代金受領書・米預証文等綴 明治一十九年	一綴	
5 諸品代金勘定書・通帳・受領書等綴 佐藤宛 明治一十九年	一綴	
明治二十年地租地方税学校費郡村費商人諸目録 明治二〇年	袋入	二綴 六九六
1 明治二十年地租・地方税・諸入費賦課書并受取書綴 佐藤文吉宛 明治二〇年	一綴	
2 諸品代金等金銭勘定書・受取書綴 佐藤宛 明治一九年、二〇年	一綴	
米積預り証綴 明治二〇年、二一年	一綴	五四六五
地租地方税等受領証綴 佐藤文吉宛 明治二一年	一綴	五四六九
明治二十一年諸品代金その他金銭勘定書・受領書綴(袋表書「明治廿一年地租地方税学校費郡村費配符、出米請取入、年々諸方り商売人諸目録入」) 明治二一年	袋入	一綴 九二〇

米受領書・米代金受領書等〔袋表書〕地租地方税  
戸長役配賦米出来請取 明治十九年郡村費諸方  
目録入〕 明治二〇年 袋入

二点 六八

1 米受領書・米代金受領書綴 明治二〇年

一綴

\*2 普請人足用具覚小札

〔片木  
包紙〕 六三枚

明治二十二年地租・地方税等賦課書・受領書并  
品代勘定書・受領書等 明治二二年 袋入

五点 六九

〔注〕 3は2の挿入文書

1 地租・地方税・諸入費賦課書并受領書綴  
黒川村収入役小林佐五平ほか 正眼寺宛、  
佐藤文吉宛ほか 明治二二年

一綴

2 米受取書綴 柿崎太田屋作太郎ほか 岩手  
村佐藤文吉宛 明治二二年

一綴

3 口演〔東京大角力興行仕度旨〕 世話人若者  
中 六月

一通

4 代金受取書綴〔焼酎・炭〕 柿崎駅阿部清  
十郎、黒岩村桑原彦作各一通 上、旦那宛  
明治二二年一月一日、一八日

一綴  
(二通)

5 諸品代金等金銭勘定書・受領書等綴 明  
治二二年

一綴

代金勘定書・通帳・領収書等綴 明治二三年

一綴 五四七

地租地方税等受領書綴 籠島徳四郎・正眼寺・佐  
藤文吉ほか宛 明治二二、二四年

一綴 五四七

代金勘定書・通帳・領収書等綴并地方税受領証  
佐藤文吉宛 明治二四年

二綴  
四通 五四六

明治廿五年地租地方税郡村費受領書・買物通并  
目録 明治二五年 袋入

三綴 九二六

1 地租地方税郡村諸入費等受領書綴 佐藤  
文吉宛 明治二五年

一綴

2 米受取証綴 柿崎太田屋作太郎ほか 岩手  
佐藤宛 明治二五年

一綴

3 諸品代金その他金銭受領証綴 明治二五  
年

一綴

代金勘定書・通帳・領収書等綴并米代金受取書  
綴〔袋表書〕明治廿六年地租地方税諸目録入〕 明  
治二六年 袋入

二綴 五四六

明治二十七年諸品代金その他金銭勘定書・受領  
書綴 明治二七年 袋入

一綴 九二三

明治二十八年諸品代金その他金銭受領書等綴  
明治二八年

一綴 九二四

代金勘定書・領収書等 明治二九年、三〇年

一括 五〇通 五四六

米受領書・明治二十三年地租割税受領書等〔袋  
表書〕明治三十年度地租縣郡村費及ヒ其他受領書  
入袋 岩手高原〕 明治二三年、三〇年 袋入

一五点 九三

1 米受領書綴 柿崎太田屋作太郎ほか 佐藤  
文吉ほか宛 明治二七年

一綴

2 米受領書綴 柿崎太田屋作太郎 大字岩手  
高原宛 明治二九年

一綴

3 授業料・諸品代金受領書綴 明治三〇年

一綴

4、15 明治二十三年地租割税受領書、ほか  
年不詳米山寺惣代書簡、金銭勘定覚等 袋入

一二通

米受領書綴 柿崎大田屋作太郎ほか 佐藤耕策宛  
明治卅〇年、三十四年

明治卅二年度買物代金受領書

1 米受取証綴 柿崎太田屋作太郎ほか 岩手  
佐藤宛 明治三二年

2 諸品代金その他金銭受領書綴 明治三二年

3 黒川村大字芋嶋仙田市十郎手間代金請取  
書 佐藤耕策宛 七月九日

4 木村由太郎代金受取書〔手間代・弁釘代・  
たばこ代〕 さと宛 一月九日

5 金子孝太郎代金勘定書 六月三〇日

6 新潟県三島郡與板汽船場碇屋力造名刺

7 佐藤耕策金銭出入勘定下書

8 水野万治郎人足代金請取書 上様宛 明  
治三二年九月一四日

9 黒川酒造株式会社発起人惣代柳沢新太郎  
受取書〔黒川酒造株式会社払込金五円也〕  
大字岩手 佐藤與吉宛 明治三二年十一月二二  
日

10 特約証下書〔別紙小作水入証につき〕

11 現金元金書付

12 金子包紙〔明治廿六年買物代金之内〕

13 志納金包紙 黒川村大字岩手佐藤耕策 御  
出家宛

袋入 六一点九三三

14 明治卅一年所得税金額決定通知書 中頸  
城郡長赤澤克郎 中頸城郡黒川村佐藤耕策宛  
明治三二年八月一〇日

封筒入

一通

15 代石美守医院代金勘定書〔往診料・薬代〕  
岩手村佐藤宛 (明治三一年)

封筒入

一通

16 米山寺村吉田屋代金請取書〔酒代〕 明  
治二〇年六月

封筒入

一通

17 高田善導寺前鹿野浪衛写真代金受領書

黒川村大字岩手佐藤孝策宛 明治三二年四月  
二七日

封筒入

一通

18 伯母々沢村阿部武七書状〔きみの給金受  
取拝謝〕 岩手村高原旦那宛

封筒入

一通

19 所得税金高申告督促書 黒川村役場 岩  
手佐藤耕策宛 明治三二年六月一三日

封紙入

一通

20 金子包紙〔金百円也〕 黒川村大字岩手佐  
藤文吉宛 明治二八年一月二五日

封紙入

一枚

21 上野篤溪伊香保代金受取書 上宛 明治  
三一年四月二二日

封紙入

一通

22 柳澤三平書状〔米代金相送り候間、御受取  
下さるべく云々〕 佐藤宛 一〇月二〇日

封紙入

一通

23 吉原弥作代金受取書〔正種油、ロウソク代〕  
上宛 明治二二年九月一日

封紙入

一通

24 米山寺長面書状〔かや代金之儀につき勘定  
願〕 岩手高原旦那宛 六月九日

封筒入

一通

25 留置小包到着通知書 柿崎郵便局 黒川村  
宇岩手佐藤耕策宛 明治二九年一月二〇日

封筒入

一通

26 大字芋ノ嶋仙田禮藏代金請取書〔かや代  
金〕 大字岩手佐藤宛 明治二八年七月五日

封筒入

一通

27 中頸城郡黒川村大字岩手佐藤文吉名刺	一枚	42 東京神田区錦町正則英語学校授業料領収書 佐藤宛 明治三二年四月	四通
28 柏崎西巻清古書状「(鑑節老本見本として差送り候間、至急御返報下されたく)」 佐藤宛 明治三二年九月一四日	一通	46・47 第一高等学校書記杉山素輔領収証書「(試験料、入学料)」 佐藤耕策宛 明治三二年六月二八日、七月一八日	二通
29 岩手村ほか七ヶ村分金銭書上 (明治二二年)	一通	48 高田町中寺区高田新聞社代金受領書 佐藤耕策宛 明治三二年七月	一通
30 新潟県越後国中魚沼郡十日町上村清松名刺	一枚	49 伊香保湯元本暮八郎代金受領証「(御茶料) 御客様宛 九月一八日	一通
31 高田中小町藤屋勇吉書状「(金三円也拝借仕り度)」 岩手邸佐藤宛 六月三〇日	一通	50 52 美守医院代金受取書 岩手佐藤耕策宛 明治三二年一二月三二日	三通
32 中頸城郡役所用状写「(奈良県高市外三郡役所より種子購求試作致したきにつき送付方依頼につき、精撰の上差出すべき様)」 戸長渡辺貞治宛 明治二二年二月二七日	一通	53 金子包紙「(明治廿五年品評会ヨリ米賞)」	一枚
33 小字田反別書付	一通	54 代金勘定書 西巻宛	一通
34 大字下金原原兼吉代金受取証「(新古綿打賃)」 大字岩手高原宛 明治三二年三月一〇日	一通	55 丸寿店代金勘定書 西巻宛 七月一三日	一通
35 上小野村戸長役場用状「(別紙の通郡衙より依頼相来候につき、至急当方へ御差出有るべく)」 岩手村佐藤文吉宛 三月二日	一通	56 字米山寺大工貞作勤料受取書 字岩手佐藤宛 明治三二年一二月三〇日	一通
36・37 胎養舎牛乳代金受取書 佐藤宛 明治三二年六月三〇日、七月一八日	二通	57 金銭勘定定覧	一通
38 富山市茶木屋正價仕譯書「(兼代金受取)」 佐藤宛 明治三二年一二月二三日	一通	58 寛書「(午後二時過ぎ長とろへ参候云々)」	一通
39 41 内堀桑次郎代金受取書「(下宿料、石油、客膳代)」 佐藤宛 五月三〇日、七月一八日、一二月二九日	三通	59・60 証書断片	二枚
		61 袋	一枚
		諸品代金等金銭受取書 佐藤宛 明治三二年、三年	袋入 四九通 九七
		諸品代金勘定書・受領書等綴 佐藤宛 明治三二年、三三年	一綴 九八
		地租・地方税領収書等 明治三三年、三八年	一括 六点 九〇五

1 地租・地方税等領収書綴 収入役小熊栄吉 佐藤耕策宛 明治三三〜三六年	一綴	横半々
2 6牛乳配達日記 中頸城郡七ヶ村大字山谷牛乳搾取場 佐藤宛 明治三八年八月〜二月	五通	
米受領書綴 柿崎大田屋作太郎ほか 佐藤耕作宛 明治三三年	一綴 九二〇	
明治三十四年諸品代金その他金銭受取書綴	一綴 九六〇	
米受領証綴 柿崎大田屋作太郎ほか 佐藤耕作宛 明治三四年	一綴 九〇六	
明治三十五年諸品代金その他金銭受領書綴	一括 三綴 九六三	
卅六年度諸受取証 明治三六年	袋入 二七点 九三七	
1 諸品代金その他金銭受領書綴 明治三六年	一綴	
2 19 地租地方税等納入令書并領収証書 佐藤耕策宛 明治三六年	一一綴 七通	
20 米受取書綴 ②合資会社ほか 佐藤宛 明治三六年	一綴	
21 24 品代受領書 明治三三年、三六年	四通	横長半
25 27 (人足職人勤日記)	三冊	
明治三拾七年度諸請取人 岩手高原 明治三七年	袋入 三点 九二四	
1 諸品代金その他金銭受取書綴 明治三七年	一綴	
2 米入荷報告 柿崎②合資会社 岩手佐藤宛 明治三七年	一綴	

2・3 諸品代金その他金銭受領書綴 明治四五年	一綴 一括	大字協議費・用水費等受領書綴 大正元年 二年 佐藤耕策宛	一綴 九二三 (一二通)
大正貳年度諸受取入袋 高原 大正二年	袋入 二二点 九三五	1 諸品代金その他金銭受領書綴 大正二年	一綴
2 12見積書・代金受取書 長岡與板屋呉服店ほか 佐藤耕策ほか宛 大正二年	封筒入 一一通	13 22 諸品代金その他金銭勘定書・受取書ほか 大正二年	一〇通
大正參年度受領証入袋 大正三年	袋入 九二六	1 地租・地方税受領書 佐藤耕策宛 大正三年	一綴 一括
2 大字費・用水費等受領書 大字馬正面区長楡井藤吉ほか 佐藤耕策宛 大正三年	一括 一三通	3 諸品代金等金銭受領書 大正三年	一綴
大正四年度受領証入袋 黒川村岩手高原 大正四年	袋入 九二八	1 地租・地方税・郡村諸入費等受領書 佐藤耕策宛 大正四年	一綴
2 大正三年度大字費・夫役費等受領書綴 佐藤耕策宛 大正三年 四年	一綴 一五通 (一五通)	3 諸品代金その他金銭受領書等 大正四年	一括 ほか
大正六年地租・地方税・諸入費受領書并諸品代金勘定書・受領書 大正六年	包紙入 六点 九〇〇		
1 地租・県税・村税・諸税受領書等綴 大黒川村収入役新部修治ほか 佐藤耕作宛 大正六年	一綴	2 6 諸品代金勘定書・受領書等綴 佐藤宛 大正六年	一綴 四通
大正八年度諸請取証 大正八年	袋入 二綴 九二〇	1 地租地方税郡村諸入費等受領書綴 佐藤耕策宛 大正八年	一綴
2 諸品代金その他金銭受領証綴 大正八年	袋入 一綴	大正九年度諸受取証 大正九年	二綴 九二五
1 地租地方税大字諸入費等受領書綴 大正九年	一綴	2 諸品代金その他金銭受取書綴 大正九年	一綴
大正十年諸品代金その他金銭受領書等綴 大正一〇年	一綴 九二五	大正十一年諸請取 大正一一年	二綴 九〇五
1 地租・地方税・諸入費受領書綴 大正一一年	一綴	2 諸品代金等金銭受取書綴 大正一一年	一綴
大正十二年通帳 大正一二年	袋入 一二冊 九二九	1 杣の通 吉川村後生寺佐藤金太郎 岩手佐藤宛 大正一二年一月	一冊
2 御通 黒川村字岩手佐藤庄次郎 高原宛 大正一二年二月	横半々 一冊	3 御通 佐藤才治 佐藤宛 大正一二年一月	横半々 一冊

4御通 大字芋嶋小山正次 大字岩手佐藤宛 大正一二年二月	横半々	一冊	2 諸品代金その他金銭受領書等綴 大正一五年(昭和元年)	袋入	一綴
5御通 柳沢商店 岩手佐藤宛 大正一二年二月	横半々	一冊	昭和四年度諸請取証 昭和四年	袋入	二綴 九三六
6御通 柿崎 岩手高原旦那宛 大正一二年二月	横半々	一冊	1 地租地方税村諸入費等受領書綴 佐藤耕策宛 昭和四年		一綴
7御通 黒川村字米山寺永井屋呉服店 高原宛 大正一二年一月	横半々	一冊	2 諸品代金その他金銭受領書綴 昭和四年		一綴
8御通 佐藤酒店 高原宛 大正一二年二月	横半々	一冊	昭和五年度諸受取書 昭和五年	袋入	二綴 九三三
9御通 與板屋呉服店 佐藤耕策宛 大正一二年	横半々	一冊	1 地租地方税村諸入費等受領書綴 佐藤耕策宛 昭和五年		一綴
10御通 市川呉服店 高原佐藤宛 大正一二年	横半々	一冊	2 諸品買物代金その他金銭受領書綴 昭和五年		一綴
11御通 黒川村字米山寺松屋商店 岩手佐藤宛 大正一二年	横半々	一冊	昭和九年地租・地方税・郡村諸入費賦課書・受領書綴 佐藤耕策宛 昭和九年		一綴 九〇九
12御通 二宮呉服店 佐藤宛 大正一二年	横半々	一冊	昭和十年地租・地方税・郡村諸入費賦課書・受領書綴 佐藤耕策宛 昭和一〇年		一綴 九〇四
大正十四年度諸請取書 大正一四年	袋入	二綴 九三七	昭和十一年地租・地方税・郡村諸入費賦課書・受領書綴 佐藤耕策宛 昭和一一年		一綴 九〇七
1 地租地方税大字諸入費等受領書綴 佐藤耕策宛 大正一四年		一綴	昭和十二年地租地方税大字入費等受領書綴 佐藤耕策宛 昭和一二年		一綴 九二三
2 諸品代金その他金銭受領書綴 大正一四年		一綴	昭和十三年地租・地方税・郡村諸入費賦課書・受領書等綴 佐藤耕策宛 昭和十三年		一綴 九〇八
昭和元年大正十五年度諸請取書 大正一五年(昭和元年)	袋入	二点 九二三	品物代金領収書・荷物運送状等綴 佐藤耕策ほか宛 昭和一三年		一綴 九〇二
1 地租地方税大字入費等受領書綴 佐藤耕策宛 大正一五年(昭和元年)		一綴	昭和十四年地租・地方税・郡村諸入費賦課書・受領書綴 佐藤耕策宛 昭和一四年		一綴 九〇〇

家政

家計・出金

\*金銭出入帳 岩手村佐藤与吉 明治一四年二月 横長美 一冊 九八六・七

\*金銭出入帳 岩手村佐藤与吉 明治一五年一月一日 横長美 一冊 九〇八七・二六

皇大神宮大麻御初穂受納書 佐藤文吉宛 明治一〇年 一通 九八九

\*皇大神宮御初穂帳 新潟原中頸城郡岩野村 明治二十年未 横長半 一冊 九〇八七・八五

米出入并米蔵一細 閏八月二四日より 横半半 一冊 五二四五

(小遣日記帳) 横長半 一冊 五三八

出銀覚〔頼母子、虚無僧、座頭ほか〕 一通 五四四

越後国直江津ヨリ上野国高崎迄里程五十里鉄道  
蒸車創立資金出金連名 仮一冊 九〇三

記録・学芸

\*軍書覚 天明四年 横半々 一冊 五七五・三

今昔名家奇人競〔番付〕 板一枚 五九七

江戸横山町三丁目和泉屋金右衛門書状〔書箱御  
買上の件その他〕 上様宛 七月二九日 一通 五九九

春日山林泉寺宝品謙信座像写 一枚 五〇〇

短歌行 一卷 五八三

\*〔短歌行〕 一枚 五三六・一四

句集 一冊 五四一

漢詩草案〔送三上君遊東京〕 宮島忠三郎 佐藤宛 一通 九七二

漢詩〔從軍行ほか〕 一枚 九〇八

水府老公御密書写 嘉永七年六月 半 仮一冊 九四〇

書状

下鳥源左衛門書状〔春中出入一件につき、星野氏  
よりの書状を仁平氏に渡し候たき旨云々〕 佐藤  
八平宛 七月二六日 一通 五〇一

(高田) 下田端町浦野織右衛門書状〔病氣見舞〕  
岩手村高原佐藤啓助宛 五月二日 一通 五〇二

川田村源正寺書状〔宗祖聖人六百回忌法会執行案  
内〕 岩手村佐藤啓介宛 一通 五〇三

江戸敷喜八書状〔小使難波につぎ金子差送り下さ  
るべき旨〕 岩手村高原宛 十一月二日 一通 五〇四

黒巖書状〔喜八種物診察の件〕 佐藤宛 九月三日 一通 五〇六

(高田) 下田端町浦野織右衛門書状〔老母追々重  
病に相成生死の程も計り難く、近々おいで下され  
たき旨〕 高原佐藤啓助宛 八月八日 一通 五〇七

上小野三上書状〔愚父一昨日より痼痢につき、四  
五日の内出席致し兼候旨〕 岩手高原佐藤宛 八  
月一〇日 一通 五〇八



塚田書状〔病氣見舞〕 佐藤宛 師走二一日	一通 五〇九	定右衛門（穀山）書状〔遠山久四郎様御屋敷片山東造様に罷在素読手伝仕候旨、その他下条堰一件、北代石長原田地等々につき簡条書〕 松五郎宛 二月十一日夕	一通 五三八
芸州海田市宿脇御本陣二而村上様附吉藏・倉古書状〔帰国延期のため困窮につき、交代または金子を送られたき旨〕 岩手村高原啓次郎宛 三月一日	一通 五二〇 包紙入	水野村薩美仁左衛門書状〔勘定目録差上候旨〕 佐藤啓助宛 八月二七日	一通 五四三 包紙入 附共
鉢崎近藤良助書状〔病氣見舞〕 佐藤啓助宛 一〇月七日	一通 五二一 封紙入	附 松右衛門口上書	
谷沢徳三郎書状〔父大病につき申上〕 岩手村高原宛 丑一〇月一二日	一冊 五二三	小田穀山書状〔六四郎出府久々に対面のこと、並びに米松清之助女共学向の事出精のこと〕 佐藤喜太郎宛 二月一九日	一通 五四五
三上儀右衛門書状〔病氣見舞〕 佐藤啓助宛 二月一五日	一通 五二三	八平書状〔御用片付申さず帰在成り難く候につき云々〕 佐藤平六宛 一二月三日	一通 五四七
成治庵書状〔貴家様御内方様一同隠宅までおいで下されたき旨〕 佐藤宛 三月二三日	一通 五二四	某書状別啓〔若金子遣され下さるべく候はば藤三郎高田へ参候節何卒遣され下さるべく云々〕 喜太郎宛	一通 五五〇
新部甚某書状〔今町辺より米四五百俵才寛致候様申来候につき、何俵なりともお売り下さるべく云々〕 佐藤八平宛 四月二七日	一通 五三〇	佐藤善左衛門書状〔樋場親司より兼て御頼の田地代金半金手に入り申さざるにつき相談〕 二月一日	一通 五五九 後欠
内山和助書状〔高原親子不和合につき御願方一筆〕 大場善兵衛・湯本平助・佐藤松五郎宛 七月四日	一通 五三九	善二郎書状〔草津湯汲場旅先より〕 義助宛 七月二五日	一通 五六四 二枚
片羽三郎右衛門書状〔例年通り柿崎彦右衛門様へ御徳米秋中に計置候件、ならびに老両巻分万出として今日受取申候件〕 佐藤友右衛門宛 一〇月五日	一通 五三二	星野半左衛門書状〔善左衛門書状拝見并高畑より布施公書状見せられ候件その他につき〕 喜太郎宛 五月七日	一通 五六五
小田穀山書状〔栗一袋下され候由御礼、ならびに御出府の節逗留地につき〕 中川寛治宛 一〇月一六日	一通 五三三	佐藤啓助書状〔高田浦野家滞在中、卜師に病氣のことうらなわせ候次第通知〕 佐藤宛 七月三〇日	一通 五六六
湯本三太右衛門書状〔引取婚姻日取りにつき相談〕 佐藤八平・佐藤宗左衛門宛 一二月四日	一通 五三六		

上小野三上喜三右衛門書狀「馬正面より高帳持参不調法いたし別紙の通り申し来たり候につき」  
岩手佐藤啓助宛 三月三日

附 馬正面村与頭九郎右衛門書狀「高帳万雑帳奥印帳仕損じにつき岩手村へ申訳の一  
通給われたき旨」  
門宛 三月三日 上小野村三上喜三右衛

附共  
二通 五六七

佐藤半治書狀「佐藤半治石和在勤中の書狀。籠嶋氏御出府御帰国の途中御立寄下され候件はか」  
八平・惣左衛門宛 九月一〇日

一通 五三八

佐藤六四郎書狀「江戸にて学問修業中貧窮の様子、ならびに鈴木徳左衛門様安藤政右衛門様御夫婦に御世話に相成居候様子などお知らせ」 佐藤喜太郎宛 一〇月二一日

一通 五三九

\*定右衛門亡父多惣右衛門書狀写「原町村田地一件につき申上」 友右衛門宛 二五日

一通 五三七

佐藤六四郎書狀「字彙史記岩岩手より取寄遣され下し置かれたき旨、並びに岩手へ詔物御届け下し置かれたく云々」 佐藤景山宛 五月二〇日

一通 五七二

\*原町村吉田与一右衛門書狀并下町村坂口定右衛門書狀 佐藤八平宛、佐藤友右衛門宛

一通 五七三

↓「争論・一件」のうち「原町村小作地出入」(四二頁)に關係ありか。

1 吉田与一右衛門書狀「當下条御藏納米につき漸々金式兩才覚仕り候旨、並びに残金春中迄御指延下されたく願上げ奉り候旨」 佐藤八平宛 午(寛延三年) 一二月二五日

一通

2 吉田与一右衛門書狀「虫川角右衛門殿儀坂口氏へ付無心之儀につき、御願いの件」 佐藤友右衛門宛 亥(享保一六年) 一二月九日

一通

3 吉田与一右衛門書狀「当年作徳米拾五俵之内九俵御藏計入遅れ候につき、金式兩三分差越申候間、貴公様御才覚にて御払米を御買入られたく云々」 佐藤八平宛 (延享三年辰) 一二月一〇日

一通

4 吉田与一右衛門書狀「不作につき当辰作徳米之儀五俵之外金子にて御算用下されたく云々」 佐藤八平宛 (寛延元年辰) 一一月一三日

一通

5 吉田与一右衛門書狀「当年御得米并毎々残金御催促之儀につき、難渋之旨申上」 佐藤友右衛門宛 (寛延二年巳) 一二月一二日

一通

6 坂口定右衛門書狀「原町村田地一件につき申上」 佐藤八平宛 五月一三日

一通

八郎兵衛書狀「内々御祝儀樽之儀につき」 太喜右衛門宛 一一月五日

一通 五八五

百木九郎兵衛書狀「借金願」 岩手村八郎兵衛宛 一二月九日

前欠 一通 五八六

江川太郎左衛門御手代方へ進物書付并佐藤柳助宛礼狀等綴「佐藤惣左衛門江戸にて病死につき御世話方々へ御挨拶并返礼」

包紙入 一綴 (五通) 五九〇

書狀・用狀

一通 五九六

1 相沢元右衛門書狀「品御届下され御礼、殘金廿七八日兩日の内に差上」 佐藤八平宛 一二月二三日

前欠 一通

2 新松甚兵衛・平野孫八書狀「(前半不明) 今日高田表へ御出駕成され候由につき重左衛門御帰次第高田表へ金子持参仕るべく云々」 佐藤八平宛 一二月二三日

前欠 一通

3 大肝煎所用状〔其村酒造屋冬藏与頭庄屋印紙入用につき依頼〕 岩手村庄屋中宛 一〇月二三日	一通	
4 平助書状〔米計入、不作等につき〕 文左衛門宛 一二月二四日	一通	前欠
5・6 某書状断簡	二通	
鉢崎良助書状〔甚平は抱瘡にこれ無き旨申上〕 岩手村高原宛 六月一四日	一通	五三九七
たはた町湯野織右衛門書状〔母を長々預り御世話下され御礼〕 高原佐藤啓助宛 六月五日	一通	五三九八
(早川) 清太郎書状〔福浄寺より返書につき岩手様へ然るべき様仰せ上げられたく云々〕 堀田宛 四月一日	附共 二通	五三九九
附 福浄寺書状 早川清太郎宛 四月一日		
天屋貞助書状〔重箱老組ほか御注文品差上申候旨〕 高原旦那宛 一二月二六日	一通	五三〇〇
籠島書状〔小かれい老枚御老母様へ差上げたき旨〕 佐藤宛 三月二七日	一通	五三〇一
黒津村出忠藏書状〔病氣につき交代の夫人御送り下されたく〕 岩手村庄屋宛 六月二一日	一通	五三〇三
某書状断簡	一通	五三〇四
久左衛門書状〔江戸書状老通・麻うぶき・大根種江戸より参候間指上候旨〕 佐藤六四郎宛	一通	五三〇六
書状断簡	六通	五三〇八
某口上書〔金子之義去暮中に差上申すべき積りのところ、守界隊稽古相始り云々〕	一通	五三〇九
		後欠
三上書状〔柿崎四ッ目屋米十郎造成者につき、同人へ追々米売渡し候積り〕 岩手佐藤宛 六月一七日	一通	五三六五
某書状下書〔縁談之義につき内に居り難く出府仕候旨書置〕	一通	五三七四
包紙(カ)	一通	五三七五
平助書状〔高田行之儀六日頃出町仕るべき旨、並びに清之助様岩野へ小池大場両人同道の件につき〕 高原宛 七月四日	一通	五三七七
高鳥潜夫書状〔下剂調合のことにつき〕 高原御主人宛 一〇日	一通	五三七九
善兵衛書状〔御頼金御取立のことにつき代役として御呼出の件〕 喜太郎宛 三月二八日	一通	五三八〇
水野村箕輪宗左衛門書状〔手形米米山寺蔵入につき小前より馬足米差出しの件〕 佐藤喜太郎宛 一〇月二九日	一通	五三八三
湯本平助書状〔御咄申上度義御座候間、拙宅へ御光米下されたく旨〕 佐藤米松宛 一二月二六日	一通	五三八三
某書状〔下書カ〕〔別紙注文之通り菊下し置かれたき旨〕	一通	五三八四
内山和助書状〔損地検分多忙につき姉様御病氣見舞延引の託び、浦野役前に相離れ候由のことその他〕 御大兄宛 三月一〇日	一通	五三八五
内山和助書状〔御業御服用候はば追々快氣に向い申すべき旨云々〕 佐藤松兵衛宛 一二月一三日	一通	五三八七
星野半左衛門書状〔御歳暮指上〕 佐藤喜多郎宛 一二月二八日	一通	五三八八

塔原草夫書状〔御料人様御容体并薬調合の件〕 高 原御主人宛 霜月	一通 五八九
星野書状〔善兵衛殿落合村兼帯庄屋大儀の件并大長 午房田作り等品々御礼、そのほか〕 佐藤宛 一 二月七日	一通 五九〇
内山和助書状〔明後十五日友太郎殿足入御招き遊 ばされ候旨御知らせ、そのほかの件〕 大兄宛 十一月十三日	一通 五九四 前欠
土肥成庵書状〔贈答品受納御礼并お返し品進上〕 佐藤喜太郎宛 九月二十四日	一通 五四五
八平書状〔我等今日江戸着、地方懸り御役所へ奉公 致し申すべく云々〕 佐藤柳助宛 七月二十八日	一通 五四八 前欠
包紙・断簡類	一括 五四二
下鳥源右衛門書状〔下町之一件につき廿八九日頃 佐藤氏御子息御添簡を比方へ御出し候積りの由承 知〕 仁平豊兵衛宛 一〇月二十七日	一通 五四七
上小野栗郷書状〔昨年差上置候みのはやしの本を 御返し下されざるよう願上〕 佐藤宛 正月二十八 日	一通 五四八
岡田藤七書状〔金子借用之儀御出来下されざる由 残念の旨〕 佐藤松五郎宛 四月二十四日	一通 五四八 包紙入
包紙〔文化八年九月下条村弥五兵衛より借用金返り手 形の包紙〕	一枚 五四三
浦野織右衛門覚書〔頼母子講懸ヶ金受取〕 星野 佐五右衛門宛 巳三月十二日	一通 五四四

## 越後国頸城郡岩手村佐藤家文書（その二） 解題

文書の伝来と目録の刊行

岩手村と組合村および佐藤家について

本目録所収文書の特徴と整理方針

文書の配列と概要

### 文書の伝来と目録の刊行

本目録は、『史料館所蔵史料目録第三十八集・越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録（その一）』（以下、『目録（その一）』と略称）の続編である。

佐藤家文書は、『目録（その一）』の「解題」に記したように、越後国頸城郡岩手村（現新潟県中頸城郡柿崎町大字岩手）佐藤家の原蔵にかか  
る総数約一万点の文書群で、一九五三（昭和二八）年と一九八二（昭和五七）年の二次にわたって当館の所蔵に帰したものである。その経緯に  
ついては、『目録（その一）』の「解題」を見られたい。

『目録（その一）』には、冊子型文書の大半と、書付型文書のうち比較的まとまりのよいものを中心に約六二〇〇点を収録したが、本目録  
（その二）に収録したのはそれ以外の書付型文書約一四〇〇点で、冊子型文書はほとんど含まれていない。量的に多数を占めるのは、江戸期の  
年貢算関係の書付けや明治期以降の地租・地方税等の領収書類、それにさまざまな種類の代金受領書などである。

なお佐藤家文書には、このほか未整理のものとして江戸期から昭和期にいたる書簡などがまだ数多く残っている。これについては早急に目録

(その三)として刊行する予定なので了承されたい。

### 岩手村と組合村および佐藤家について

佐藤家文書は、大きく分けると、(1)一七四二(寛保二)年から一七六八(明和五)年まで二七年間、岩手組一五ヶ村の大肝煎役を勤めたこと  
によって作成され伝来した岩手組大肝煎文書(組合村文書)、(2)近世前期から明治期まで、代々岩手村庄屋・戸長の地位にあったことによって  
作成され伝来した庄屋・戸長文書、(3)佐藤家の家政・経営に関して私的に作成され伝来した「家」文書、の三つの文書群(サブグループ)から  
構成されている。したがって、佐藤家文書の利用にあたっては、岩手組(組合村)と岩手村の行政組織と行政機能のありかた、および佐藤家の  
家系や家政経営のありかたなどについて、基本的な予備知識が必要である。これについては不十分ながら『目録(その二)』の「解題」に記し  
たので、本目録を利用する前にあらかじめ参照されたい。

### 本目録所収文書の特色と整理方針

#### 原形保存と原配列の尊重

本目録に収録した文書は、前述のように江戸期の年貢算用関係の書付けや明治期以降の地租・地方税等の領収書  
類、それに日常的なさまざまな代金受領書などが中心である。こういった種類の文書は、月日のみ記載され年代  
がわからない場合が多いこともあって、一点一点バラバラの状態では必ずしもその史料価値を高く評価されない傾向にある。

しかし佐藤家文書の特徴のひとつは、このような日常的で軽微に見える文書が、実に丹念に保管され、一年ごとにまとめていねいに保存さ  
れていることである。こよりで綴じている場合もあれば、束ねて紐で結んだり袋に入れている場合もあるが、この習慣は江戸期から昭和期まで  
一貫しているように見受けられる(口絵写真1および2参照)。領収書のように一見日常的で軽微に見える文書の場合、このような形でまとま

っていることは、文書の史料価値を高めるうえでかなり重要なことであると考えられる。

したがって、今回の文書整理にあたっては、いわゆる「原形保存の原則」「原配列尊重の原則」にしたがい、佐藤家で行なわれてきた保存形態や配列の順序をそのまま残すよう、最大限の注意をはらった。もちろん中には、全然違う年代のものが一緒に綴じられていたり、袋の表書と中身とが別のものであったり、紐がはずれてバラバラになっていたりする例も少なからず見受けられた。が、そのような場合であっても、史料現物の保存形態や配列の順序を安易に変更することはできるだけ避けるようにした。もっとも、元のままの状態では閲覧がきわめて不便なため、やむを得ず紐を解いたり袋から出したりして一通ずつ封筒に入れた場合もある。この場合には元の状態をできるだけ詳しく封筒に注記しておいた。

### 目録編成の考え方

本目録における文書配列は、基本的に『目録（その一）』のそれを踏襲しているが、最近の目録編成論の研究の進展によって若干変更したところもある（本目録の基礎となっている考え方については、当館編『史料の整理と管理』（一九八八年、岩波書店刊）第一部第三章「史料の整理と検索手段の作成」を参照されたい）。

いちばん大きな違いは大項目と中項目を一部逆転したことである。『目録（その一）』では、佐藤家文書が、(1)岩手組組合村文書（大肝煎文書）、(2)岩手村文書（庄屋・戸長文書）、(3)佐藤家「家」文書、という作成母体の異なる三つの文書群（サブグループ）から成ることを明らかにしたにもかかわらず、目録上の項目編成では、従来の史料館所蔵史料目録との調和をはかるために、大項目に「支配」「土地」「貢租・諸懸」などの主題分類的な項目名を採用し、「組合村」「岩手村」という本来大項目として扱うべきものを下位の中項目に位置づけていた（ただし、「佐藤家」については大項目扱いであった）。本目録ではこの点を修正し、大項目に「岩手組（組合村）」「岩手村」「佐藤家」という三つの組織名称を採用した。文書目録の大項目（第一次構成基準）は、文書発生母体の内部的な組織・機構に基づく文書群（いわゆるサブグループ）をもってあてるのが適当だという最近の考え方にしたがったものである。

中項目（第二次構成基準）についても、文書発生母体の内部的な組織・機構をもとにまとめられた各大項目（サブグループ）の中で、今度はそれぞれの組織の機能ないし活動の柱ごとの文書のまとまり（いわゆるシリーズ）を見だし、これを中項目とするのが適当だとする考え方が

提示されている（前掲『史料の整理と管理』参照）。

佐藤家文書の場合、岩手組大肝煎と岩手村庄屋・戸長の職務機能および佐藤家の家政機能の柱をどのように立てるべきかの検討は未だ不十分だが、『目録（その一）』で大項目として掲げた「支配」「土地」「貢租・諸懸」などは、比較的これに近いものとして考えられる。そこで本目録では、『目録（その一）』との調和の意味もあって、原則的にこれを中項目として採用することにした。

小項目名は、少し簡略化したり合成したところもあるが、『目録（その一）』で使用した小項目名を踏襲している。

## 文書の配列と概要

### 『岩手村（組合村）』

佐藤家四代当主佐藤八平（一七一〇―一七八八）が、一七四二（寛保二）年の榑原家高田入部当初から一七六八（明

和五）年までの二七年間、岩手組一五ヶ村の大肝煎役（最初は年番と称した）であったことにより作成され伝来した、

岩手組の組合村行政に関する文書群。ほとんど『目録（その一）』に収録済みなので、本目録に収録したのは補遺的なものである。

中項目としては、「支配」「貢租・諸懸」「普請」「戸口」「村政」「その他」の六つを立てているが、いずれも点数はごく少数である。

「支配」は、小項目「才覚金」のみで構成されている。『目録（その一）』八頁、「才覚金」の関連史料である。

「貢租・諸懸」は、小項目「蔵米」「刺米」「郡中組内小懸」の三つで、このうち「蔵米」「刺米」は、『目録（その一）』の大項目「貢租・諸懸（組合村）」のうち、中項目「年貢・小物成」の補遺史料、「郡中組内小懸」は同じく「郡中割」「郡中・組内小懸取立」の補遺史料である。

「普請」は、「郡中割普請」と「岩手組諸村普請所」の三つの小項目で構成されている。いずれも『目録（その一）』の同名小項目に関連史料がある。

「戸口」は、「宗門改帳」「改寺改宗」が各一点のみ。

「村政」は、「治安・吟味」が一点のみ、「その他」も二点のみである。



## 『岩手村』

佐藤家当主が、近世前期から明治期にいたるまで代々岩手村の庄屋あるいは戸長の役職を勤めたことにより作成され伝来した、岩手村の行政文書である。ただ、明白に岩手村の公的な文書であると判別できるような文書は、大半『目録（その一）』に収録済みであり、本目録に収録したのは、後述するように、主として、佐藤家の私的な「家」文書との区別が難しい年貢・村入用関係の勘定書や受取書などである。

中項目としては、「支配」「土地」「貢租・諸懸」「戸口」「普請」「村政」「争論・訴訟」の七項目があり、『目録（その一）』の岩手村文書にかわる大項目名を網羅しているが、量的には「貢租・諸懸」が圧倒的に多い。

「支配」は、小項目「触・達」と「夫人足・伝馬御用」が数点のみ。

「土地」もわずか九点だが、『目録（その一）』の小項目を援用し、「高反別帳・地曳帳」「地租改正・地押調査」「絵図・地図」の三項目を立てた。

「貢租・諸懸」は量的に本目録の中心である。この中項目に配列した文書の大半は、佐藤家の諸村持高分の年貢諸懸り算用目録やさまざまな品物代金の勘定書・受領書などで、たいてい一年ごとにこよりで綴じたり袋に入れられたりしている。これらの書付け類は、『目録（その一）』で「諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴」というような表題をつけ、「村方諸入用・佐藤家貢租」という小項目に配列したのと同じ種類のものである。『目録（その二）』に収録した分は、同書「解題」二九七頁で説明したように各年の岩手村年貢諸懸り帳簿と一括して保存されており、そのため一見佐藤家の私的な「家」文書であるにもかかわらず、村の公用文書の一部とみなしておいたのである。このことからみて、本目録に収録した「諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴」も、もともとは各年の岩手村年貢諸懸り帳簿と一括されてあったと思われる。

ところで、諸村持高年貢諸懸り算用目録や品代勘定書・受領書の袋には、しばしば同じ年の蔵納米受取りや廻し米手形などかなりはいつている。『目録（その一）』では、これらを別の小項目に配列したのであるが、今回は細かい小項目を立てることをやめ、中項目「貢租・諸懸」で一括して、その中は単純な年次順の配列とした。ひとつの袋に入っている文書は、原配列のまま保存する必要があるのは当然として、まったく

無関係な内容でないかぎり目録上でもできるだけ原配列のまま記載したほうが意味があると考えたためである。そのため本目録では、一綴りの文書はもとより、袋に入っている文書についても、一括文書であることが明白にわかるよう、全体に一文書番号、個々の文書に枝番号を付すようにした。この点、『目録「その一」』の文書番号の付け方とは若干異なっているので了承されたい。

中項目「普請」は、「御普請所」「普請人足用具」「川除・用水堰普請」「橋普請」「他村」の五つの小項目とした。『目録「その一」』の大項目「普請」のうち中項目「岩手村」の補遺をなす文書を配列した。

「戸口」の小項目は、「戸籍・出生死亡人調」「人別送・送籍・寄留」「他国出稼」の三つにまとめた。明治期の送籍証写が中心である。

「村政」の小項目は、「救恤」「治安」「衛生」「寺社」「諸稼・営業」「廻状・用状」「大区小区・町村編制」「選挙」「他村」「その他」である。

『目録「その一」』の大項目「村政（岩手村）」の中項目・小項目をアレンジして構成したが、いずれも点数はわずかで『目録「その一」』の補遺的なものである。

「争論・訴訟」に配列したのは、明治期の「宇城山入会地境界争論」（『目録「その一」』一八七頁参照）関連文書三点のみである。

## 『佐藤家』

佐藤家の家政経営にかかわって作成され伝来した文書群である。これまでに述べた岩手組文書と岩手村文書の大半が『目録「その一」』の補遺的文書であったのにくらべると、この大項目に収録した佐藤家「家」文書には、『目録「その一」』になかった種類の文書が、明治期以降のものを中心に比較的多く含まれている。

さて、『目録「その一」』では『佐藤家（地主経営）』『佐藤家（家政）』という二つの大項目に分けたが、本目録では『佐藤家』一本とし、「経営」と「家政」の二つの中項目を設けた。「経営」に入れたのは、『目録「その一」』で『佐藤家（地主経営）』に配列したのと同類の文書が中心だが、『目録「その一」』では『佐藤家（家政）』の中項目「家計・事業」に配列した代金勘定書・受取書などもこの項目に収めた。それについては後述する。

文書内容に合わせて『目録「その一」』の項目名に若干手を加えた結果、中項目「経営」はつぎの八小項目で構成されることになった。「所持地」「債券」「所得」「土地金融証文」「地主帳簿」「小作地経営」「争論・一件」「勘定書・受取書（売米、諸品、地租・地方税・郡村諸入費）」。

「所持地」「債券」「所得」には、『目録（その一）』の中項目「家産」と同種史料を配列した。「土地金融証文」「地主帳簿」「小作地経営」も、数は少ないが『目録（その一）』の同名中項目または同名小項目と同種類の史料である。

「争論・一件」には、「原町村小作地出入」など六件の事件に関する史料が入っているが、これらはいずれも『目録（その一）』の中項目「諸村支配地」小項目「争論・一件」にある史料の補遺史料である。

「勘定書・受取書（売米、諸品、地租・地方税・郡村諸入費）」に収載した史料群は、本目録に収録したもののうちでは、『岩手村』『貢租・諸懸』の項目に次いで量の多い文書シリーズである。小項目名としては長すぎるが、『目録（その一）』の中項目「家計・事業」のなかにある「代金勘定書・諸取書」との違いを示すために、あえて括弧書きの内容説明を加えた。つまりこういうことである。

『目録（その一）』の「代金勘定書・諸取書」に配列したのは、主として近世の代金勘定書・諸取書類のち、一点ずつバラバラになっているために佐藤家の私的な買物に関するものか、それとも村入用の庄屋立替分として村方勘定に組み入れられたものか判断できない分であった。これに対し、本目録で「勘定書・受取書（売米、諸品、地租・地方税・郡村諸入費）」に収載したのは、ほとんど明治・大正・昭和の文書で、その保存特徴の特徴として、口絵写真でも示したように、ごくありふれた代金請求書や領収書類を実によく保存し、一年ごとにていねいにまとめていることがあげられる。その場合、米の入荷受取書や売米代金領収書、買物代金の領主書、それに地租・地方税・郡村諸入費の領収書などは、たいがい種類別に綴られ、そのうえで一年分ずつ袋に入れられている。本目録では、このような一括史料については、目録上にできるだけそのままの形で表示する方針を取っているので、小項目名を「勘定書・受取書（売米、諸品、地租・地方税・郡村諸入費）」とし、年次順に配列したのである。

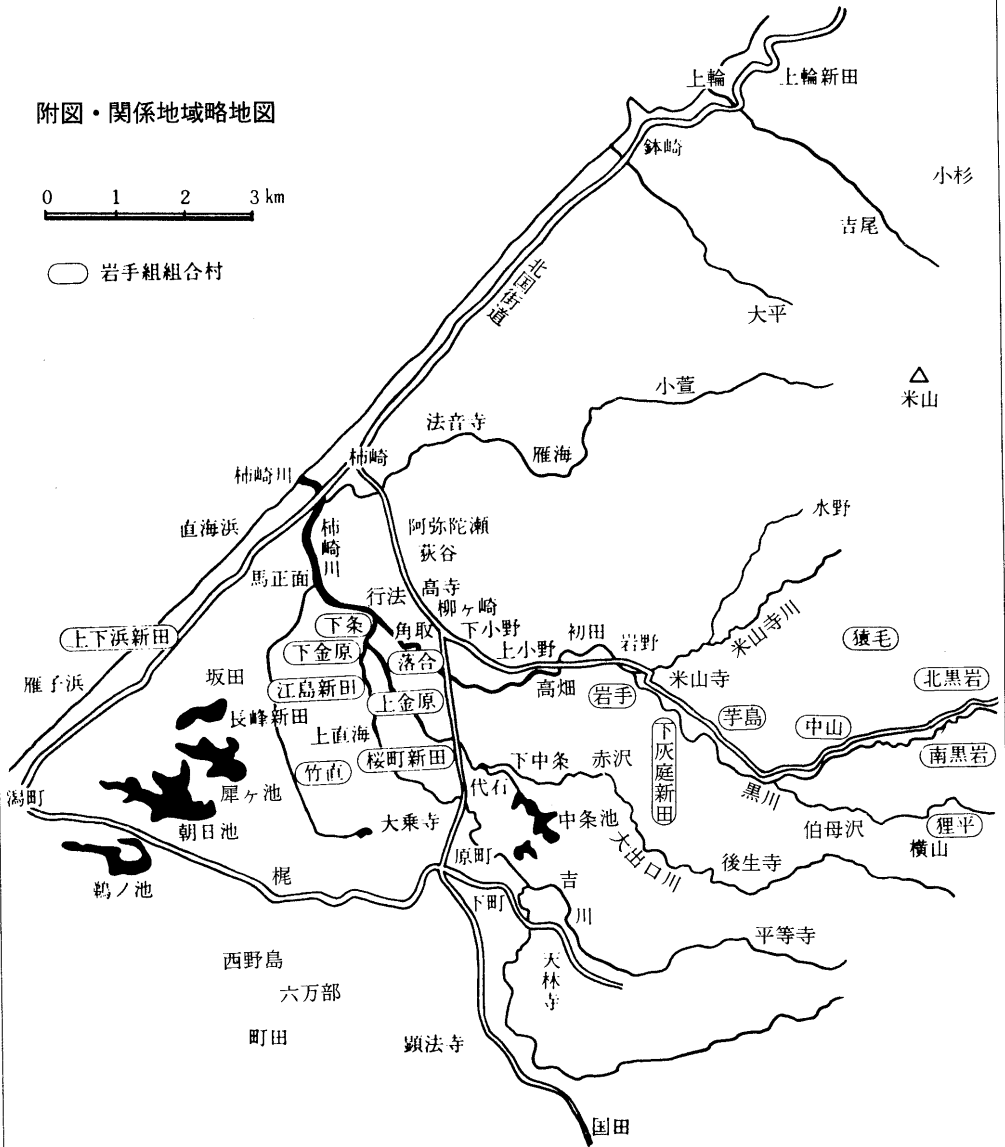
最後に、中項目「家政」には、「記録・学芸」と「書状」をそれぞれ若干ずつ収録した。書状については、はじめに記したように、目録（その三）に多数掲載の予定であり、ここに収録したのは整理済みのごく一部分である。

〔付記〕

本文書の整理および目録・解題作成は安藤正人が担当した。本文書を利用するにあたっての参考文献などについては、『佐藤家文書目録（その一）』解題を見られたい。

A horizontal number line with tick marks at 0, 1, 2, and 3 km. The line is labeled '0', '1', '2', and '3 km' from left to right.

○ 岩手組組合村



史料館所蔵史料目録 第四十九集

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録（その二）

平成元年三月三日 印刷発行

東京都品川区豊町一丁目十六番十号

国文学研究資料館内

編集者 国立史料館  
発行者

東京都中野区中央四丁目八番九号

印刷所 株式会社 三協社